



**Interstage
Business Process Manager
V11.2.1**



QuickForm UI部品リファレンス

B1WD-2932-03Z0(00)
2013年1月

まえがき

本書の目的

本書は、QuickFormが提供するUI部品について説明しています。

本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

第1章 UI部品の概要

UI部品の概要について説明しています。

第2章 画面部品

画面部品について説明しています。

第3章 機能付加部品

機能付加部品について説明しています。

第4章 注意事項

UI部品の注意点について説明しています。

略称

本書に記載されている製品の名称は、以下のように省略して表記します。

なお、本書では、システム名または製品名に付記される登録表示((TM)または(R))は、省略しています。

略称	正式名称
Internet Explorer	Microsoft(R) Windows(R) Internet Explorer(R) (互換モード)

輸出許可

当社ドキュメントには、外国為替および外国貿易管理法に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

著作権

Copyright 2013 FUJITSU LIMITED

目次

第1章 UI部品の概要.....	1
1.1 UI部品一覧.....	1
1.2 UI部品の使い方.....	2
1.2.1 UI部品の記述方法.....	2
1.2.2 スタイルの設定.....	4
1.2.3 UI部品の<div>タグおよびタグで利用できる属性.....	5
1.2.4 ページあたりの画面部品の個数.....	5
第2章 画面部品.....	6
2.1 フォーム部品.....	6
2.1.1 Text.....	6
2.1.2 TextInput.....	8
2.1.3 CheckBox.....	11
2.1.4 RadioButton.....	13
2.1.5 TextArea.....	15
2.1.6 Select.....	18
2.1.7 ComboBox.....	22
2.1.8 DateInput.....	25
2.1.9 NumberInput.....	28
2.1.10 SelectList.....	30
2.1.11 CheckList.....	33
2.2 コンテナ部品.....	37
2.2.1 ViewContainer.....	37
2.2.2 Panel.....	38
2.2.3 ViewStack.....	40
2.2.4 TabPanel.....	41
2.2.5 FragmentContainer.....	48
2.3 テーブル部品.....	51
2.3.1 TableView.....	51
2.3.2 TableEdit.....	57
2.3.3 ViewColumn.....	62
2.3.4 ButtonForTable.....	66
2.3.5 ViewColumnGroup.....	69
2.4 カレンダー部品.....	70
2.4.1 Calendar.....	70
2.4.2 PopupCalendar.....	76
2.4.3 CalendarButton.....	79
2.5 画面部品共通プロパティ.....	81
2.6 スタイルプロパティ.....	84
第3章 機能付加部品.....	88
3.1 グループ化機能付加部品.....	88
3.1.1 RadioButtonGroup.....	88
3.2 機能付加部品共通プロパティ.....	89
第4章 注意事項.....	90
4.1 画面部品の注意事項.....	90
4.1.1 画面部品全般に関する注意事項.....	90
4.1.2 サロゲートペア.....	90
4.1.3 画面部品表示時のエラー.....	90
4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作.....	90
4.1.5 画面部品の幅と高さ.....	90
4.1.6 画面部品のレイアウト.....	91
4.1.7 テキスト入力部品でのCtrlキー+zによるやり直し.....	91
4.1.8 ページあたりの画面部品の個数について.....	91

4.1.9 ページの拡大/縮小機能に関する注意点	91
4.2 全部品共通の注意事項	91
4.2.1 フォーカス移動におけるInternet Explorerの動作に関する注意事項	91
4.2.2 部品に対するキー入力に関する注意事項	92
4.2.3 Number型のデータに関する注意事項	92
4.3 エラーメッセージ	92
索引	95

第1章 UI部品の概要

本章では、UI部品の概要を説明します。

1.1 UI部品一覧

UI部品とは、QuickFormに定義される部品群の総称です。UI部品には、以下の2種類があります。

- ・ 画面部品
- ・ 機能付加部品

画面部品

画面部品は、テキスト入力フィールドや、テーブルなど画面に表示される部品群です。HTMLに決められた記述方式で部品を指定すると、Webブラウザでの実行時に動的に指定されたコンポーネントに展開され、その結果が表示されます。

以下に画面部品の一覧を示します。

表1.1 画面部品一覧

名前	タイプ(typeプロパティに指定します)	概要
Text	IBPMText	テキストを表示する部品です。 HTMLのテキストに相当する部品です。
TextInput	IBPMTextInput	単一行のテキストを入力および編集するための部品です。 HTMLの<input type="text" value="値">および<input type="password" value="値">に相当する部品です。
CheckBox	IBPMCheckBox	オンまたはオフの状態を表すチェックボックス部品です。 HTMLの<input type="checkbox" value="値">に相当する部品です。
RadioButton	IBPMRadioButton	ラジオボタン部品です。 HTMLの<input type="radio" value="値">に相当する部品です。
TextArea	IBPMTextArea	単一行または複数行のテキストを、入力および編集するための部品です。 HTMLの<textarea>に相当する部品です。
Select	IBPMSelect	単一選択および複数選択が可能な選択リスト部品です。 HTMLの<select> <option>に相当する部品です。
ComboBox	IBPMComboBox	入力フィールドと選択リストから構成され、項目の選択および選択されている項目の表示を行う部品です。 入力フィールドに対して直接テキストを入力することもできます。
DateInput	IBPMDateInput	TextInputの一種であり、日付および時間データを、入力および編集するための部品です。
NumberInput	IBPMNumberInput	TextInputの一種であり、数値を入力および編集するための部品です。
SelectList	IBPMSelectList	単一選択および複数選択が可能な選択リスト部品です。
CheckList	IBPMCheckList	チェックボックス付きのリスト部品です。
ViewContainer	IBPMViewContainer	汎用コンテナ部品です。 子要素にHTML要素を持つことができ、それらをまとめて部品として扱うことができます。 ViewContainer自体は表示部分を持ちません。

名前	タイプ(typeプロパティに指定します)	概要
Panel	IBPMPanel	タイトル部、ボディ部から成り立っているタイトルバー付きコンテナ部品です。 子要素にHTML要素を持つことができ、子要素に定義された内容はボディ部の内容となります。
ViewStack	IBPMViewStack	同じ位置で表示切替えを行う場合に利用する部品です。 複数の画面情報(コンテナ)を持つことができ、同じ位置で切替え表示を行います。
TabPanel	IBPMTabPanel	タブにより表示切替えを行う場合に利用する部品です。 複数の画面情報(コンテナ)を持つことができ、タブにより切替え表示を行います。
FragmentContainer	IBPMFragmentContainer	ページ表示後、任意のタイミングで外部から画面情報を読み込み表示するためのコンテナ部品です。
TableView	IBPMTableView	2次元のデータを表形式で表示する部品です。昇順、降順でソートすることができます。
TableEdit	IBPMTableEdit	2次元のデータを表形式で表示し、編集することもできる部品です。
ViewColumn	IBPMViewColumn	TableViewおよびTableEditのテーブルで列を定義する部品です。
ButtonForTable	IBPMButtonForTable	ボタン部品です。テーブルで、行の追加または削除用のボタンとして使用されます。TableEditと組み合わせて利用します。
ViewColumnGroup	IBPMViewColumnGroup	ViewColumnをグループ化する部品です。
Calendar	IBPMCalendar	カレンダーを表示し、日付の選択もできる部品です。
PopupCalendar	IBPMPopupCalendar	ダイアログ表示するカレンダー部品です。
CalendarButton	IBPMCalendarButton	PopupCalendarを表示するボタン部品です。PopupCalendarと組み合わせて利用します。

機能付加部品

機能付加部品は、画面部品に機能を付加します。
以下に機能付加部品の一覧を示します。

表1.2 機能付加部品一覧

名前	タイプ(typeプロパティに指定します)	概要
RadioButtonGroup	RadioButtonGroup	ラジオボタングループ定義部品です。 複数のラジオボタンを1つのグループとして登録します。

1.2 UI部品の使い方

UI部品の使い方として、UI部品の記述方法、およびスタイルの設定方法について説明します。

1.2.1 UI部品の記述方法

UI部品は、HTMLの<div>タグおよびタグを使って記述します。

記述形式: <div>タグの場合

```
<div rcf:id="部品ID" rcf:type="部品タイプ" rcf:プロパティ名="値" ... ></div>
```

記述形式: タグの場合

```
<span rcf:id="部品ID" rcf:type="部品タイプ" rcf:プロパティ名="値" ... ></span>
```

属性	説明
rcf:id	部品IDを指定します。(省略可) Interstage BPM Studioでは、このプロパティにユーザ定義属性(UDA)を指定することができます。UDAを指定した場合、部品が初期化される際に、指定したUDAの値が特定のプロパティの値として使用されます。また、そのプロパティの値は、UDAの値として保存されます。 UDAを指定する場合、uda_<UDAの識別子> の形式で記述します。 UDAの指定方法についての詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”を参照してください。
rcf:type	部品タイプを指定します。
rcf:プロパティ名	部品ごとに定義されているプロパティ、スタイルプロパティなどを指定します。

例えば、TextInputに、UDA(UDAの識別子はVariable1)を関連づけて、maxLengthプロパティ、colorプロパティを指定する場合は、以下のように記述します。

```
<span rcf:id="uda_Variable1" rcf:type="IBPMTTextInput" rcf:maxLength="10" rcf:color="blue">  
</span>
```

画面部品は、<div>タグおよびタグの両方で記述できる部品と、<div>タグでだけ記述できる部品があります。<div>タグ、タグの両方で記述できる部品に関しては、表示上、以下の違いがあります。

- <div>タグ
部品の前後に改行コードが挿入されます。
- タグ
部品の前後に改行コードは挿入されません。

各画面部品の詳細は、“第2章 画面部品”を参照してください。

機能付加部品は、<div>タグおよびタグのどちらで記述しても違いはありません。

ポイント

UI部品を記述する際には、以下の事柄に注意してください。

• 終了タグの記述

UI部品を記述する場合、子要素を持たない部品を空要素で記述せずに、必ず終了タグを記述してください。空要素で記述した場合、それ以降の部品が表示されない場合があります。

— 正しい例

```
<span rcf:id="id1" rcf:type="IBPMTTextInput"></span>
```

— 間違った例(空要素記述)

```
<span rcf:id="id2" rcf:type="IBPMTTextInput"/>
```

• “rcf-”から始まる文字列

QuickFormでは“rcf-”から始まる文字列を特別な意味で利用しています。そのため、以下の値に“rcf-”から始まる文字列は指定しないでください。

- HTMLのid属性
- HTMLのstyle属性
- rcf:id属性

- **rcf:id属性およびHTMLのid属性**

rcf:id属性により部品IDを指定する場合、指定する値は以下の条件を満たしている必要があります。

- 画面で一意であること
例えば、画面の遅延読み込み(画面の一部分だけを別に用意しておき、ユーザが画面操作をしている間に裏で画面情報を読み込むこと)を行う場合、遅延読み込みで読み込んだ画面情報を含めて、部品IDは一意である必要があります。
- 画面のHTMLのid属性の値と重複しないこと
HTML要素にid属性でIDを指定する場合、その画面で指定する部品IDと重複する値は指定できません。重複する値を指定した場合、動作が不定になります。

- **配列要素の記述**

StringやNumberの配列を値として指定するプロパティの場合、属性値を“;”で区切って配列の要素を指定することができます。

例: SelectListのoptionsプロパティの場合

```
<div rcf:type="IBPMSelectList" rcf:options="item1;item2;item3"></div>
```

配列の要素が空の場合は、属性値に空文字列("")を指定してください。

そのほかの型(Object型など)の配列を、属性値として直接指定することはできません。

1.2.2 スタイルの設定

画面部品のスタイルの指定には、以下の2つの方法があります。

- [スタイルプロパティでの設定](#)
- [CSSでの設定](#)

スタイルプロパティでの設定

画面部品では、その部品で指定できるスタイルをプロパティ(スタイルプロパティ)として設定できます。

例えば、TextInput部品で背景色、文字色、フォントの大きさを変更したい場合は、以下のように指定します。

```
<span rcf:type="IBPMTextInput"
rcf:backgroundColor="#FFFFFF" rcf:color="#000000" rcf:fontSize="large"></span>
```

その画面部品で指定できないスタイルプロパティが指定された場合は、無視されます。

スタイルプロパティには、部品全体に対するスタイルプロパティと部品の特定のパーツに対するスタイルプロパティがあります。

スタイルプロパティの命名規則については、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”のポイントを参照してください。

また、各部品のスタイルプロパティについては、各部品の説明を参照してください。

CSSでの設定

各画面部品は、styleClassプロパティによってクラス名が指定できます。クラス名を利用することで、スタイルをCSSによって記述できます。

以下に、SelectList部品での記述例を示します。

```
<style type="text/css">
.myClass .rcf-SelectList{
    width: 100px;
    height: 200px;
    color: blue;
    border-color: black;
    background-color: lightgrey;
}
.myClass .rcf-SelectList-optionSelected {
    color: red;
}
</style>
```



```
<div rcf:type="IBPMSelectList" rcf:styleClass="myClass" rcf:options="foo:bar">
</div>
```

styleClassプロパティによってクラス名を指定すると、その部品のスタイルプロパティで指定できるスタイルをCSSで記述することができます。

CSSで指定する場合のルールは、以下のとおりです。

- スタイルプロパティ名がすべて小文字のもの (例: width、height)
CSSでは、同じ名前前で指定できます。
- スタイルプロパティ名に大文字を含んでいるもの (例: backgroundColor、fontSize)
CSSでは、大文字の前に“-”を挿入し、大文字を小文字にした名前になります。
 - backgroundColor → background-color
 - fontSize → font-size
- スタイルプロパティでプレフィックス(パーツ名)が前にあるもの (例: titleHeight、bodyPadding)
特定のクラス名とCSSで指定できます。(myClassは、styleClassで指定したクラス名)

PanelのtitleHeightの場合

```
.myClass .rcf-Panel-title {
  height: 30px;
}
```

PanelのbodyBackgroundColorの場合

```
.myClass .rcf-Panel-body {
  background-color: white;
}
```

なお、画面部品のスタイルプロパティで指定できないスタイルをCSSに記述した場合の動作は不定です。

1.2.3 UI部品の<div>タグおよびタグで利用できる属性

UI部品の<div>タグおよびタグには、“rcf:”で始まる属性とstyle属性だけが記述できます。

style属性に記述可能なCSSスタイルプロパティは以下に限定されます。

- position
- top
- left
- z-index

PopupCalendarでは、styleプロパティが利用できません。

1.2.4 ページあたりの画面部品の個数

ViewStackやFragmentContainerなどにより最初は表示しない部分も含め、ページあたりの画面部品数は50個以下を推奨します。

部品数が多い場合、初期表示に時間がかかったり、初期表示およびページ切替え時にエラーになったりする場合があります。

なお、TableView、TableEdit、Calendarなどの複雑な部品を多用した場合や、マシン性能などの要因で、画面部品が50個以下であっても、初期表示に時間がかかったり、エラーになったりする場合があります。

第2章 画面部品

本章では、画面部品について説明します。

2.1 フォーム部品

フォーム部品は、Webアプリケーションを開発する際に主に入力部品として利用するもので、テキストボックスやラジオボタンなどがあります。

ここでは、フォーム部品の設定内容および設定方法について説明します。

2.1.1 Text

Textは、テキストを表示する部品です。

表示例

テキスト表示

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMTText" ... ></div>
```

または

```
<span rcf:type="IBPMTText" ... ></span>
```



注意

子要素は指定できません。詳細は、“4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作”を参照してください。



ポイント

本部品は、以下のように表示されます。

- ・ <div>タグの場合:前後に改行コードが挿入されます。
- ・ タグの場合:前後に改行コードは挿入されません。

プロパティ

表の項目の意味

表の項目の意味は、以下のとおりです。

- ・ 省略:省略できるプロパティかどうかを示します。
- ・ 省略値:省略した場合の値を示します。

名前	データ型	説明	省略	省略値
value	String	テキストを指定します。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。 詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。	可	""

名前	データ型	説明	省略	省略値
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 テキストノードか、属性ノードのxpathを指定できます。	不可	-
title	String	ツールチップで表示されるテキストを指定します。	可	""
labelProvider	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。



注意

titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。

なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。

特殊文字を含むテキストを表示する場合の注意事項

以下の特殊文字を含むテキストを表示する場合、特殊文字に対応するエスケープ文字をvalueプロパティに指定します。

特殊文字	エスケープ文字
&	&
<	<
>	>
"	"
'	'
改行文字 (¥r¥n および単独の ¥r, ¥n)	
空白(半角空白およびタブ)	

変換例:<formatted"テキスト">という文字列を表示する場合、以下の文字列をvalueプロパティに指定します。

[表示する文字列] <formatted"テキスト"> ↑ ↑ ↑↑ (1) (2) (2) (3)
--

[valueプロパティに指定する文字列] <formatted"テキスト"> ↑ ↑ ↑ ↑ (1) (2) (2) (3)

誤ってvalueプロパティに特殊文字列を指定後、その文字を削除してもQuickFormが正しく表示されない場合は、ソースビューで該当のText部品のvalueプロパティの値が正しく削除されているか確認してください。

スタイルプロパティ

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-Text	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラー ・ フォント ・ テキスト(textIndent、textAlign、whiteSpaceを除く) ・ ボーダー ・ パディング

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。



注意

ボーダーを指定した場合の注意事項

Textにボーダーを指定した場合、以下のようにボーダーの一部が欠けて表示される場合があります。

この場合、以下のどちらかの方法で回避できます。

- ・ Text部品の下に空行を追加します。

```
<div rcf:type="IBPMTText" rcf:value="文字列"></div>
<br/>&nbsp;
```

- ・ Text部品を記述した<div>タグまたはタグに、style属性でposition:relativeを指定します。

```
<div rcf:type="IBPMTText" style="position:relative" rcf:value="文字列"></div>
```

2.1.2 TextInput

TextInputは、テキスト(単一行)の入力フィールドを表示する部品です。

表示例

本部品では、Ctrlキー + z が使用できます。詳細は、“[4.1.7 テキスト入力部品でのCtrlキー+zによるやり直し](#)”を参照してください。

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMTTextInput" ... ></div>
```

または

```
<span rcf:type="IBPMTTextInput" ... ></span>
```



注意

子要素は指定できません。詳細は、“[4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作](#)”を参照してください。



ポイント

本部品は以下のように表示されます。

- ・ <div>タグの場合:前後に改行コードが挿入されます。
- ・ タグの場合:前後に改行コードは挿入されません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
value	String	テキストを指定します。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。そして、入力された値は、UDAに保存されます。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。	可	""
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 テキストノードか、属性ノードのxpathを指定できます。	不可	-
title	String	ツールチップで表示されるテキストを指定します。	可	""
labelProvider	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
enabled	Boolean	本部品の有効/無効を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ true:有効 ・ false:無効 操作できなくなります。 	可	true
readOnly	Boolean	書込み禁止/許可を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ true:禁止 ・ false:許可 	可	false
password	Boolean	パスワードを入力する形式にするかどうかを指定します。表示後に変更することはできません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ true:パスワード入力形式 ブラウザにより“*”や“●”で表示されます。 ・ false:パスワード入力形式でない 	可	false
maxLength	Number	最大文字数を指定します。2バイト文字も1文字と数えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1以上の数字:文字数を指定 (0以下は無効) ・ 指定なし:ブラウザに依存 	可	指定なし(-1)

名前	データ型	説明	省略	省略値
		“4.1.2 サロゲートペア”を参照してください。		
autoEscape	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
tabIndex	Number	Tabキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0
uppercase	Boolean	半角および全角の英文字を大文字にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:入力文字を大文字に変換する最初に画面に表示される時、入力確定時(フォーカスが外れたとき)に変換されます。 • false:入力文字を変換しない 	可	false
imeMode	String	IMEのモードを指定します。以下の値以外が指定された場合は、無視されます。 <ul style="list-style-type: none"> • auto:自動 • active:フォーカス時に日本語入力をONにする • inactive:フォーカス時に日本語入力をOFFにする • disabled:IMEを無効化 	可	auto
mandatory	Boolean	テキストの入力を必要とするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true : 必要とする 省略された場合は、エラーメッセージが表示されます。 • false : 必要としない 	可	false

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”を参照してください。

注意

titleプロパティに関する注意事項

titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。
なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。

ポイント

- maxLengthプロパティを指定してIMEで入力したとき変換前の文字列が存在する場合、maxLengthプロパティで指定した文字数に達した段階で強制的に文字列が確定します。

スタイルプロパティ

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-IBPMTextInput	<ul style="list-style-type: none">・ サイズ・ カラー・ フォント(lineHeightを除く)・ テキスト(textIndent、whiteSpaceを除く)・ ボーダー・ パディング

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

2.1.3 CheckBox

CheckBoxは、チェックボックスを表示する部品です。

表示例

ラベルテキスト

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMCheckBox" ... ></div>
```

または

```
<span rcf:type="IBPMCheckBox" ... ></span>
```



注意

子要素は指定できません。詳細は、“[4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作](#)”を参照してください。



ポイント

本部品は以下のように表示されます。

- ・ <div>タグの場合:前後に改行コードが挿入されます。
- ・ タグの場合:前後に改行コードは挿入されません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
value	String	チェックボックスの値を指定します。	可	""
checked	Boolean	チェックの有無を指定します。 <ul style="list-style-type: none">・ true:チェックする・ false:チェックしない	可	false

名前	データ型	説明	省略	省略値
		<ul style="list-style-type: none"> idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。そして、チェックボックスに指定された値は、UDAに保存されます。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。		
title	String	ツールチップで表示されるテキストを指定します。	可	""
label	String	チェックボックスの右側に表示されるラベルテキストを指定します。	可	""
enabled	Boolean	本部品の有効/無効を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:有効 • false:無効 操作できなくなります。 	可	true
tabIndex	Number	Tabキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。



注意

titleプロパティに関する注意事項

titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。

なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。

labelプロパティに関する注意事項

ラベルテキストにCheckBoxの幅より長い文字列を指定した場合、デフォルトでは自動改行が行われ、2行目がチェック部の下から始まります。

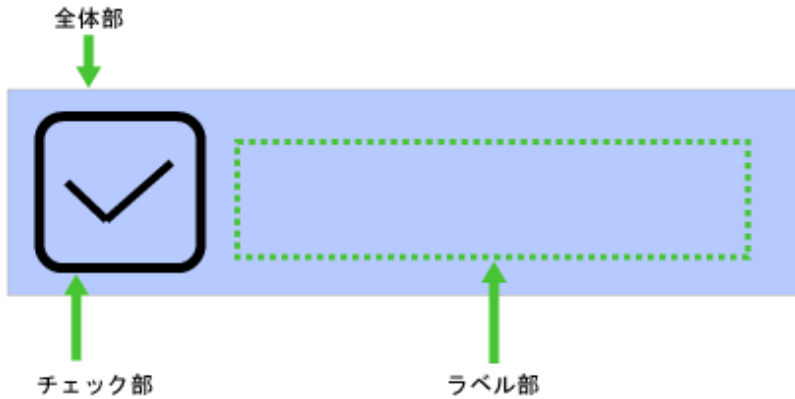
スタイルプロパティ

スタイルプロパティを以下に示します。

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
全体部	なし	rcf-CheckBox	<ul style="list-style-type: none"> • サイズ • カラー • ボーダー • パディング

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
ラベル部	label	rcf- CheckBox- label	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラー ・ フォント ・ テキスト(textIndent、textAlign、whiteSpaceを除く)

図2.1 CheckBoxの部品構成



詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

2.1.4 RadioButton

RadioButtonは、ラジオボタンを表示する部品です。

ポイント

RadioButtonGroupと組み合わせて、相互に排他的なラジオボタングループを形成することができます。

表示例

ラベルテキスト

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMRadioButton" ... ></div>
```

または

```
<span rcf:type="IBPMRadioButton" ... ></span>
```

注意

子要素は指定できません。詳細は、“[4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作](#)”を参照してください。

ポイント

本部品は以下のように表示されます。

- ・ <div>タグの場合:前後に改行コードが挿入されます。
- ・ タグの場合:前後に改行コードは挿入されません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
value	String	ラジオボタンの値を指定します。	可	""
checked	Boolean	チェックの有無を指定します。 <ul style="list-style-type: none">• true:チェックする• false:チェックしない <ul style="list-style-type: none">• idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。そして、ラジオボタンに指定された値は、UDAに保存されます。詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。	可	false
title	String	ツールチップで表示されるテキストを指定します。	可	""
label	String	ラジオボタンの右側に表示されるラベルテキストを指定します。	可	""
enabled	Boolean	本製品の有効/無効を指定します。 <ul style="list-style-type: none">• true:有効• false:無効 操作できなくなります。	可	true
tabIndex	Number	Tabキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。



注意

titleプロパティに関する注意事項

titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。

なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。

labelプロパティに関する注意事項

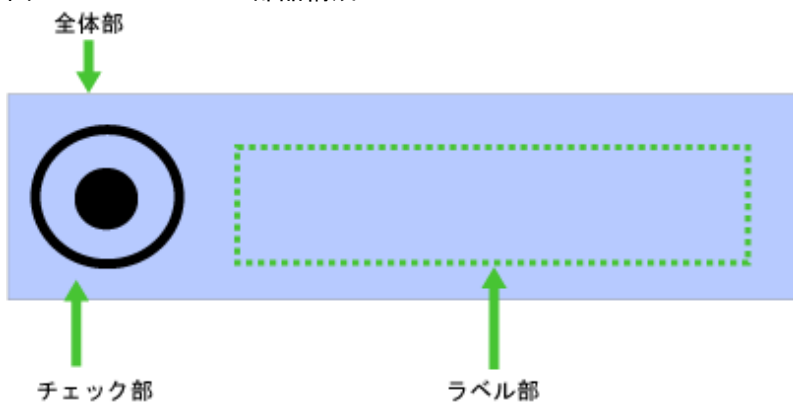
ラベルテキストにRadioButtonの幅より長い文字列を指定した場合、デフォルトでは自動改行が行われ、2行目がチェック部の下から始まります。

スタイルプロパティ

スタイルプロパティを以下に示します。

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
全体部	なし	rcf- RadioButton	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイズ ・ カラー ・ ボーダー ・ パディング
ラベル部	label	rcf- RadioButton- label	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラー ・ フォント ・ テキスト(textIndent、textAlign、whiteSpaceを除く)

図2.2 RadioButtonの部品構成



詳細は、“2.6 スタイルプロパティ”を参照してください。

注意

複数のRadioButtonに同じUDAを関連付けたい場合、idプロパティには重複する値を指定することができないため、UI部品のRadioButtonは使用できません。BasicカテゴリのRadioButtonを使用します。

例. 同じUDA(UDAの識別子はVariable1)を2つのラジオボタンに割当てたい場合

Language: English Japanese

```
<span rcf:type="IBPMText" rcf:value="Language:" ></span>
<input type="radio" NAME="uda_Variable1" value="English"
<%= (ibpmUDAprp.getProperty("uda_Variable1").equals("English"))?"checked":"" %>>
<span rcf:type="IBPMText" rcf:value="English" ></span>
<input type="radio" NAME="uda_Variable1" value="Japanese"
<%= (ibpmUDAprp.getProperty("uda_Variable1").equals("Japanese"))?"checked":"" %>>
<span rcf:type="IBPMText" rcf:value="Japanese" ></span>
```

2.1.5 TextArea

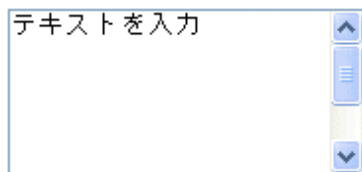
TextAreaは、テキスト(単一行または複数行)の入力フィールドを表示する部品です。

注意

改行コードについて

TextAreaに入力した文字列に改行を含む場合、valueプロパティの文字列値では“\n”(LF、文字コード10)として表現されます。

表示例



本部品では、Ctrlキー + z が使用できます。詳細は、“[4.1.7 テキスト入力部品でのCtrlキー+zによるやり直し](#)”を参照してください。

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMTextArea" ... ></div>
```

または

```
<span rcf:type="IBPMTextArea" ... ></span>
```



子要素は指定できません。詳細は、“[4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作](#)”を参照してください。



本部品は以下のように表示されます。

- <div>タグの場合:前後に改行コードが挿入されます。
- タグの場合:前後に改行コードは挿入されません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
value	String	テキストを指定します。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。そして、入力されたテキストは、UDAに保存されます。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。	可	""
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 テキストノードか、属性ノードのxpathまたは、値全体を表すxpath("/")を指定できます。	可	/

名前	データ型	説明	省略	省略値
title	String	ツールチップで表示されるテキストを指定します。	可	""
labelProvider	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
enabled	Boolean	本部品の有効/無効を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:有効 • false:無効 操作できなくなります。 	可	true
readOnly	Boolean	書き込み禁止/許可を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:禁止 • false:許可 	可	false
rows	Number	行数を指定します。1以上の値を指定できます。 スタイルプロパティのheightに部品の高さが指定された場合は、heightの値が優先されます。	可	2
cols	Number	テキストエリアの平均的文字幅による文字数を指定します。1以上の値を指定できます。 スタイルプロパティのwidthに部品の幅が指定された場合は、widthの値が優先されます。	可	20
tabIndex	Number	Tabキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0
imeMode	String	IMEのモードを指定します。以下の値以外が指定された場合は、無視されます。 <ul style="list-style-type: none"> • auto:自動 • active:フォーカス時に日本語入力をONにする • inactive:フォーカス時に日本語入力をOFFにする • disabled:IMEを無効化 	可	auto
mandatory	Boolean	テキストの入力を必要とするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true : 必要とする 省略された場合は、エラーメッセージが表示されます。 • false : 必要としない 	可	false

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

注意

titleプロパティについて

titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。

なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。

スタイルプロパティ

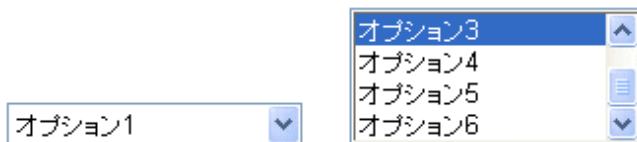
パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-TextArea	<ul style="list-style-type: none">・ サイズ・ カラー・ フォント・ テキスト(whiteSpace、textIndentを除く)・ ボーダー・ パディング

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

2.1.6 Select

Selectは、単一選択および複数選択が可能なリストボックスを表示する部品です。

表示例



記述形式

```
<div rcf:type="IBPMSelect" ... ></div>
```

または

```
<span rcf:type="IBPMSelect" ... ></span>
```

注意

子要素は指定できません。詳細は、“[4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作](#)”を参照してください。

ポイント

本部品は以下のように表示されます。

- ・ <div>タグの場合:前後に改行コードが挿入されます。
- ・ タグの場合:前後に改行コードは挿入されません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
options	String の Array	<p>選択項目を表す値を指定します。配列のメンバには、Stringを指定できません。ラベル(label)と値(value)が一意になります。要素に空文字列を指定した場合、エラーとなります。</p> <p>prop_optionsプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。</p>	optionsプロパティとprop_optionsプロパティのどちらかを指定する必要があります。	[]
prop_options	String	<p>特定の形式でString型のUDAを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> UDAの値は、カンマを使用して選択項目を表す値を区切っています。 ラベル(label)と値(value)が一意になります。 <p>詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。</p>		""
multiple	Boolean	<p>複数選択または単一選択を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> true:複数選択 false:単一選択 	可	false
selectedIndex	Number	<p>単一選択の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択されている項目のインデックス(先頭は0)を指定します。 選択状態の初期値を指定できます。 -1が設定された場合には、選択が解除されます。 無効な値を指定した場合、エラー(RCF12604)となります。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値に該当する項目のインデックスが設定されます。そして選択されたインデックスに該当する項目の値が、UDAに保存されます。詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。 <p>複数選択の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後に選択された項目のインデックスを指定します。 	可	-1
selectedIndex es	Numberの Array	<p>選択されている項目のインデックス(先頭は0)の配列を指定します。選択順にインデックスが格納されます。このプロパティにより、選択状態の初期値を指定できます。</p>	可	[]

名前	データ型	説明	省略	省略値
		何も指定しない場合は、長さ0の配列になります。 無効な値を指定した場合は、エラー(RCF12604)となります。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値に該当する項目のインデックスが設定されます。そして選択されたインデックスに該当する項目の値が、UDAに保存されます。区切り文字は、カンマです。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。		
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 テキストノードか、属性ノードのxpathを指定できます。	不可	-
selectedValue	String	単一選択の場合 <ul style="list-style-type: none"> 選択されている項目の値を指定します。 このプロパティにより選択状態の初期値を指定できます。 空文字列が指定された場合、選択が解除されます。 無効な値を指定した場合、エラー(RCF12605)となります。 複数選択の場合 <ul style="list-style-type: none"> 最後に選択された項目の値を指定します。 	可	""
selectedValues	StringのArray	選択されている項目の値の配列を指定します。選択順に値が格納されます。このプロパティにより選択状態の初期値を指定できます。 何も指定しない場合は、長さ0の配列になります。 無効な値を指定した場合は、エラー(RCF12605)となります。	可	[]
size	Number	選択リストの高さ(行数)を指定します。1以上の整数を指定します。1未満の値を指定した場合には、エラーとなります。	可	(自動設定) 単一選択の場合:1 複数選択の場合:4
title	String	ツールチップで表示されるテキストを指定します。	可	""
enabled	Boolean	本製品の有効/無効を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> true:有効 	可	true

名前	データ型	説明	省略	省略値
		<ul style="list-style-type: none"> • false:無効 操作できなくなります。 		
tabIndex	Number	Tabキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0
mandatory	Boolean	選択を必要とするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true : 必要とする 省略された場合は、エラーメッセージが表示されます。 • false : 必要としない 	可	false

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

注意

- prop_optionsプロパティを指定して選択項目を表す値にUDAの値を設定する場合、UDAの値はカンマを使用して選択項目を表す値を区切っているため、選択項目を表す値にはカンマを使用することができません。
- titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。

multipleと選択状態を表すプロパティの関係について

selectedIndex、selectedIndexes、selectedValue、およびselectedValuesの4つのプロパティは、multipleの値により、以下のように指定できるプロパティが異なります。

- multiple=false(単一選択)の場合
 - selectedIndex
 - selectedValue
 - selectedIndexとselectedValueが共に指定されていた場合は、selectedIndexが優先されます。
- multiple=true(複数選択)の場合
 - selectedIndexes
 - selectedValues
 - selectedIndexesとselectedValuesが共に指定されていた場合は、selectedIndexesが優先されます。

スタイルプロパティ

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-Select	<ul style="list-style-type: none"> • width • カラー • フォント(lineHeightを除く)

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

補足事項

・ 複数選択操作について

キーボード、マウスなどによる複数選択の操作方法は、標準設定では、以下の方法で複数選択が可能です。

選択の追加、解除

- Ctrlキーを押しながら項目をクリック

範囲選択

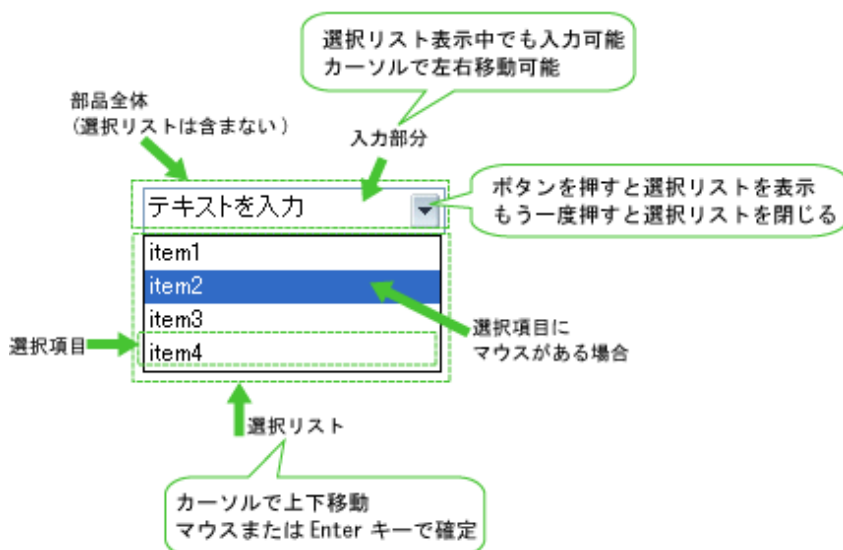
- Shiftキーを押しながら方向キーを押下

- マウスのドラッグ

2.1.7 ComboBox

ComboBoxは、コンボボックスを表示する部品です。コンボボックスは、入力フィールドと選択リストからなる部品です。

表示例



本部品では、Ctrlキー + z が使用できます。詳細は、“[4.1.7 テキスト入力部品でのCtrlキー+zによるやり直し](#)”を参照してください。

注意

ComboBoxを画面の最下部に配置した場合や、選択リストの高さを設定しないで多数の選択項目を設定した場合など、選択リストを開いたときに画面に収まらないことがあります。

このような場合、ブラウザによってはキー操作でしか選択できなくなるなど操作性が悪くなるため、選択リストが画面内に収まるように部品を配置してください。

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMComboBox" ... ></div>
```

注意

子要素は指定できません。詳細は、“[4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作](#)”を参照してください。

ポイント

本部品は、前後に改行コードが挿入されて表示されます。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 テキストノードか、属性ノードのxpathを指定できます。	不可	-
list	String の Array	選択リストに表示する項目の値を指定します。 配列の内容はStringです。 prop_listプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。	listプロパティとprop_listプロパティのどちらかを指定する必要があります。	[]
prop_list	String	特定の形式でString型のUDAを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> UDAの値は、カンマを使用して選択項目を表す値を区切っています。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。		""
buttonImage	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
fixButtonImageSize	Boolean	選択リストの表示/非表示を操作するボタンのイメージのサイズを固定にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> true: 部品全体のサイズにかかわらず、ボタンのイメージのサイズは固定のままです。 false: 部品全体のサイズに従って、ボタンのイメージのサイズが拡大・縮小されます。 詳細は、“ fixButtonImageSizeプロパティの指定時の表示例 ”を参照してください。	可	false
buttonImageSize	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
mandatory	Boolean	選択を必要とするかどうかを指定します。	可	false

名前	データ型	説明	省略	省略値
		<ul style="list-style-type: none"> • true : 必要とする 省略された場合は、エラーメッセージが表示されます。 • false : 必要としない 		

TextInputのプロパティも指定できます。ここで説明を省略しているプロパティの詳細は、“[2.1.2 TextInput](#)”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

注意

- prop_listプロパティを指定して選択項目を表す値にUDAの値を設定する場合、UDAの値はカンマを使用して選択項目を表す値を区切っているため、選択項目を表す値にはカンマを使用することができません。
- titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。

ポイント

- maxLengthプロパティを指定している場合
選択リストの文字列の最大文字数は、maxLengthプロパティの値が上限となります。
- uppercaseプロパティを有効に設定している場合
選択リストの文字列が英文字の場合、大文字に変換されて表示されます。

fixButtonImageSizeプロパティの指定時の表示例

fixButtonImageSizeの値によって、ボタンの表示サイズが異なります。

- fixButtonImageSizeの値がfalseのとき
スタイルプロパティのwidthプロパティとheightプロパティを変更すると、ボタンのイメージのサイズは以下のように変更されます。
(単位はピクセル)
 - 幅: width/10 (小数点以下切捨て)
 - 高さ: height-2



- fixButtonImageSizeの値がtrueのとき
スタイルプロパティのwidthプロパティとheightプロパティを変更しても、ボタンのイメージのサイズは固定されたままになります。



スタイルプロパティ

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf- ComboBox	<ul style="list-style-type: none"> • サイズ • ボーダー
入力部分	input	rcf- ComboBox- input	<ul style="list-style-type: none"> • カラー • フォント

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
			<ul style="list-style-type: none"> テキスト(textIndent、textAlign、whiteSpaceを除く)
選択リスト	list	rcf- ComboBox- list	<ul style="list-style-type: none"> カラー フォント テキスト(textIndent、textAlign、whiteSpaceを除く) ボーダー サイズのheight
選択項目 (マウスカーソル がない場合)	item	rcf- ComboBox- item	<ul style="list-style-type: none"> ボーダー
選択項目 (マウスカーソル がある場合)	itemHovered	rcf- ComboBox- itemHovered	<ul style="list-style-type: none"> カラー

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

補足事項

- ComboBoxのサイズについて**
 部品全体および選択リストの高さ(height)と幅(width)の単位は、“px”にだけ対応しています。そのほかの単位による指定をした場合、表示が崩れる可能性があります。
- 選択リストからの値の選択**
 マウスでボタンをクリックして選択リストを開いた場合、そのままマウスをドラッグして選択リスト上で離しても選択操作は行われません。選択リストから値を選択するには、選択したい値の上で、再度マウスをクリックしてください。

2.1.8 DateInput

DateInputは、日付を入力および編集する部品です。

表示例

2010/5/04 11:51:25

本部品では、Ctrlキー + z が使用できます。詳細は、“[4.1.7 テキスト入力部品でのCtrlキー+zによるやり直し](#)”を参照してください。

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMDateInput" ... ></div>
```

または

```
<span rcf:type="IBPMDateInput" ... ></span>
```



注意

子要素は指定できません。詳細は、“[4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作](#)”を参照してください。



ポイント

本部品は以下のように表示されます。

- <div>タグの場合:前後に改行コードが挿入されます。

- ・ タグの場合:前後に改行コードは挿入されません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
date	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。 日時データを指定するために、idプロパティにUDAを指定します。そして、入力された日時データは、UDAに保存されます。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。	-	-
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 テキストノードか、属性ノードのxpathを指定できます。	不可	-
dateFormat	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータの日付フォーマットを指定します。 指定できる日付フォーマットの一覧を以下に示します。 1. dd.MM.yyyy 2. dd-MM-yyyy 3. MM.dd.yyyy 4. MM/dd/yy 5. MM/dd/yyyy 6. yyyy-MM-dd 7. MM-dd-yyyy 8. MM dd yyyy 9. yyyy MM dd 10. YYYY/MM/dd 11. yyyy/MM/dd hh:mm:ss 12. dd/MM/yyyy 13. yyyy.MM.dd	不可	-

名前	データ型	説明	省略	省略値
		対象のUDAの値が"03.21.2010"である場合、以下のフォーマットを指定します。 "MM.dd.yyyy"		
utc	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
converter	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
refocus	Boolean	入力フィールドからフォーカスが外れて、Dateオブジェクトへの変換に失敗した場合、フォーカスを再度DateInputに戻すかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:フォーカスを戻す • false:フォーカスを戻さない 	可	false
mandatory	Boolean	日時データの入力を必要とするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:必要とする 省略された場合は、エラーメッセージが表示されます。 • false:必要としない 	可	false


TextInputのプロパティも指定できます。ここで説明を省略しているプロパティの詳細は、“2.1.2 TextInput”の“プロパティ”を参照してください。

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”を参照してください。

ポイント

パレットでDateInputを選択し、Ajaxページエディタに配置すると、以下のUI部品が定義されます。

- DateInput
- PopupCalendar
- CalendarButton



DateInputにUDAを関連付けたい場合、以下のプロパティ値に“uda_<UDAの識別子>”の形式でUDAを指定します。

- DateInputのidプロパティ
- PopupCalendarのtargetDateInputIdプロパティ

注意

- titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。
なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。
- 入力テキストがJavaScriptのDateオブジェクトに変換されるのは、入力フィールドからフォーカスが外れ、前の値から変更された場合だけです。入力中にdateプロパティの値を参照すると、前回の入力テキストが変換された結果になることがあります。

- Interstage BPM Studioでは、valueプロパティは指定できません。
- refocusプロパティに関する注意事項
refocusプロパティは、入力テキストからDateオブジェクトへの変換に失敗したときに、フォーカスをDateInputに戻す機能です。ただし、以下の場合はフォーカスが戻らないことがあります。
 - ー ブラウザのアドレスバーやツールバーなど、ページ表示域以外にフォーカスを移動した場合
例えば、アドレスバーをクリックしたり、アドレスバーのドロップダウンリストを表示したりすると、フォーカスがDateInputから外れることがあります。
- 初期値として使用するDATE型のUDAに"1970/01/01 00:00:00"と設定した場合、DateInputの入力フィールドに表示される日時の値は空になります。
DateInputの入力フィールドを空のままにした場合、関連付けられたDATE型のUDAの値には"1970/01/01 00:00:00"が格納されます。

スタイルプロパティ

本製品のスタイルプロパティは、TextInputと同じです。詳細は、“2.1.2 TextInput”の“スタイルプロパティ”を参照してください。ただし、クラス名は“rcf-IBPMDateInput”となります。
詳細は、“2.6 スタイルプロパティ”を参照してください。

2.1.9 NumberInput

NumberInputは、整数および実数の入力フィールドを表示する部品です。

表示例

123.456

本製品では、Ctrlキー + z が使用できます。詳細は、“4.1.7 テキスト入力部品でのCtrlキー+zによるやり直し”を参照してください。

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMNumberInput" ... ></div>
```

または

```
<span rcf:type="IBPMNumberInput" ... ></span>
```



子要素は指定できません。詳細は、“4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作”を参照してください。



本製品は以下のように表示されます。

- <div>タグの場合:前後に改行コードが挿入されます。
- タグの場合:前後に改行コードは挿入されません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“プロパティ”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
number	Number	数値データを指定します。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。そして、入力された数値データは、UDAに保存されます。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。	可	NaN
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 テキストノードか、属性ノードのxpathを指定できます。	不可	-
converter	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
refocus	Boolean	入力フィールドからフォーカスが外れて、numberオブジェクトへの変換に失敗した場合、フォーカスを再度戻すかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:フォーカスを戻す • false:フォーカスを戻さない 	可	false
mandatory	Boolean	数値データの入力を必要とするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true : 必要とする 省略された場合は、エラーメッセージが表示されます。 • false : 必要としない 	可	false
minimumValue	Number	数値データの最小値を指定します。	可	""
maximumValue	Number	数値データの最大値を指定します。	可	""

TextInputのプロパティも指定できます。ここで説明を省略しているプロパティの詳細は、“[2.1.2 TextInput](#)”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

注意

- titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。
なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。
- 入力テキストがJavaScriptのnumberオブジェクトに変換されるのは、入力フィールドからフォーカスが外れ、前の値から変更された場合だけです。

- Interstage BPM Studioでは、valueプロパティは指定できません。
- refocusプロパティに関する注意事項
refocusプロパティは、入力テキストからNumberオブジェクトへの変換に失敗したときに、フォーカスをNumberInputに戻す機能です。ただし、以下の場合はフォーカスが戻らないことがあります。
 - ブラウザのアドレスバーやツールバーなど、ページ表示域以外にフォーカスを移動した場合
例えば、アドレスバーをクリックしたり、アドレスバーのドロップダウンリストを表示したりすると、フォーカスがNumberInputから外れることがあります。
- Interstage BPM Studioで定義するminimumValueプロパティとmaximumValueプロパティの値は、検証されません。これらのプロパティの値を定義する場合には、以下の注意が必要です。
 - 数値のみを入力する。
 - 両方のプロパティの値を定義する場合は、maximumValueプロパティの値には、minimumValueプロパティ以上の値を設定する。

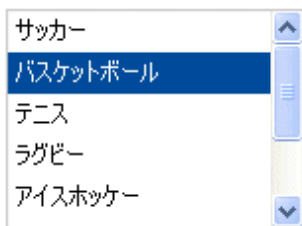
スタイルプロパティ

本製品のスタイルプロパティは、TextInputと同じです。詳細は、“2.1.2 TextInput”の“スタイルプロパティ”を参照してください。ただし、クラス名は“rcf-IBPMNumberInput”となります。
詳細は、“2.6 スタイルプロパティ”を参照してください。

2.1.10 SelectList

SelectListは、単一選択および複数選択が可能なリストを表示する部品です。

表示例



記述形式

```
<div rcf:type="IBPMSelectList" ... ></div>
```

注意

子要素は指定できません。詳細は、“4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作”を参照してください。

ポイント

本製品は前後に改行コードが挿入されて表示されます。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“プロパティ”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
options	String の Array	選択項目を表す値のリストを指定します。 prop_optionsプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。	optionsプロパティと prop_optionsプロパティのどちらかを指定する必要があります。	[]
prop_options	String	特定の形式でString型のUDAを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> UDAの値は、カンマを使用して選択項目を表す値を区切っています。 詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。		""
labelProvider	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
multiple	Boolean	複数選択または単一選択を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> true:複数選択 false:単一選択 	可	false
selectedIndex	Number	単一選択(multiple=false)の場合 <ul style="list-style-type: none"> 選択されている項目のインデックス(先頭は0)を指定します。 選択状態の初期値を指定できます。 -1を指定した場合は、選択が解除されます。 無効な値を指定した場合は、エラー(RCF13302)となります。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値に該当する項目のインデックスが設定されます。そして選択されたインデックスに該当する項目の値が、UDAに保存されます。詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。 複数選択(multiple=true)の場合 <ul style="list-style-type: none"> 最後に選択された項目のインデックスを指定します。 	可	-1
selectedIndex es	Numberの Array	選択されている項目のインデックス(先頭は0)配列を指定します。 選択順にインデックスが格納されます。このプロパティにより選択状態の初期値を指定できます。 何も選択されていない場合は、長さ0の配列になります。 無効な値が指定された場合は、エラー(RCF13302)となります。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値に該当する項目のインデックスが設定されます。そして選択されたインデックスに該当する項目の値が、	可	[]

名前	データ型	説明	省略	省略値
		UDAに保存されます。区切り文字は、カンマです。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。		
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 テキストノードか、属性ノードのxpathを指定できます。	不可	-
title	String	ツールチップで表示されるテキストを指定します。	可	""
enabled	Boolean	本部品の有効/無効を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:有効 • false:無効 操作できなくなります。	可	true
tabIndex	Number	Tabキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0
renderer	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
mandatory	Boolean	選択を必要とするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:必要とする 省略された場合は、エラーメッセージが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • false:必要としない 	可	false

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

注意

- `prop_options`プロパティを指定して選択項目を表す値にUDAの値を設定する場合、UDAの値はカンマを使用して選択項目を表す値を区切っているため、選択項目を表す値にはカンマを使用することができません。
- `title`プロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。

ポイント

- 単一選択の場合
 - 常に1つだけ選択されている状態です。初期値は、`selectedIndex`プロパティで指定します。指定がない場合、一番上の項目が選択された状態となります。
 - マウスをクリックして、選択項目を変更できます。

- ↑↓カーソルキーで、選択項目を移動できます。
- 複数選択の場合
 - 初期値は、selectedIndexesプロパティで指定します。指定がない場合、すべて非選択状態となります。
 - マウスをクリックすると、選択項目を追加できます。再度クリックすると、非選択状態に戻ります。
 - ↑↓カーソルキーで、マウスオーバーの項目を移動できます。
 - スペースキーで、マウスオーバーの項目の選択/非選択状態を変更できます。

スタイルプロパティ

部品全体のスタイルプロパティを以下に示します。

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-SelectList	<ul style="list-style-type: none"> • サイズ • カラー • フォント(lineHeightを除く) • テキスト(textIndent、textAlign、whiteSpaceを除く) • ボーダー • パディング

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

選択項目のスタイル

プレフィックス	クラス	スタイルプロパティ	説明	デフォルト
optionSelected (選択項目)	rcf-SelectList- optionSelected	backgroundColor	選択項目の背景色を指定します。	#004E98
		color	選択項目のフォント色を指定します。	#FFFFFF F(白)
optionHovered (マウスオーバー項目)	rcf-SelectList- optionHovered	backgroundColor	マウスオーバー項目の背景色を指定します。	#316AC 5
		color	マウスオーバー項目のフォント色を指定します。	#FFFFFF F(白)

表示とスタイルプロパティの関係

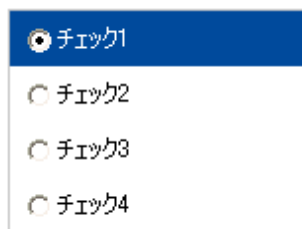
本製品のスタイルプロパティは、CheckListと同じです。ただし、チェックボックスの表示はありません。詳細は、“[2.1.11 CheckList](#)”の“[スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

2.1.11 CheckList

CheckListは、チェックボタンをリスト表示する部品です。チェックボタンは、単一選択および複数選択できます。

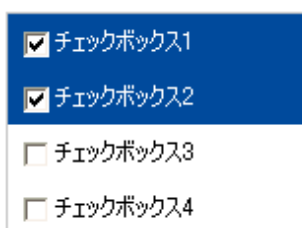
表示例

図2.3 単一選択モード

A vertical list of four radio buttons. The first one, labeled 'チェック1', is selected and highlighted with a blue background. The others are 'チェック2', 'チェック3', and 'チェック4'.

単一選択モードの場合は、ラジオボタンが表示されます。

図2.4 複数選択モード

A vertical list of four checkboxes. The first two, 'チェックボックス1' and 'チェックボックス2', are checked and highlighted with a blue background. The last two are 'チェックボックス3' and 'チェックボックス4'.

複数選択モードの場合は、チェックボックスが表示されます。

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMCheckList" ... ></div>
```

注意

子要素は指定できません。詳細は、“4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作”を参照してください。

ポイント

本部品は前後に改行コードが挿入されて表示されます。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
options	String の Array	表示される項目のリストを指定します。 prop_optionsプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。	optionsプロパティと prop_optionsプロパティのどちらかを指定する必要があります。	[]
prop_options	String	特定の形式でString型のUDAを指定します。 <ul style="list-style-type: none">UDAの値は、カンマを使用して選択項目を表す値を区切っています。 詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。		""

名前	データ型	説明	省略	省略値
labelProvider	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
multiple	Boolean	複数選択または単一選択を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:複数選択 • false:単一選択 	可	false
selectedIndex	Number	単一選択の場合 <ul style="list-style-type: none"> • 選択されている項目のインデックス(先頭は0)を指定します。 • 選択状態の初期値を指定できます。 • -1を指定した場合、選択が解除されます。 • 無効な値が指定された場合は、エラー(RCF13402)となります。 • idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値に該当する項目のインデックスが設定されます。そして選択されたインデックスに該当する項目の値が、UDAに保存されます。 詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。 複数選択の場合 <ul style="list-style-type: none"> • 最後に選択された項目のインデックスを指定します。 	可	-1
selectedIndex s	Numberの Array	選択されている項目のインデックス(先頭は0)配列を指定します。選択順にインデックスが格納されます。 選択状態の初期値を指定できます。 何も選択されていない場合は、長さ0の配列となります。 無効な値が指定された場合は、エラー(RCF13402)となります。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値に該当する項目のインデックスが設定されます。そして選択されたインデックスに該当する項目の値が、UDAに保存されます。区切り文字は、カンマです。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。	可	[]
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 テキストノードか、属性ノードのxpathを指定できます。	不可	-

名前	データ型	説明	省略	省略値
title	String	ツールチップで表示されるテキストを指定します。	可	""
enabled	Boolean	本部品の有効/無効を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:有効 • false:無効 操作できなくなります。	可	true
tabIndex	Number	Tabキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0
mandatory	Boolean	選択を必要とするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:必要とする 省略された場合は、エラーメッセージが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • false:必要としない 	可	false

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

注意

- prop_optionsプロパティを指定して表示される項目にUDAの値を設定する場合、UDAの値はカンマを使用して表示される項目を区切っているため、表示される項目にはカンマを使用することができません。
- titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。

ポイント

- 選択状態の初期値は、selectedIndexプロパティで指定します。指定がない場合、すべて非選択状態となります。
- 単一選択の場合
↑↓カーソルキーで、選択項目を移動できます。
- 複数選択の場合
↑↓カーソルキーで、フォーカスを当てる項目を移動できます。

スタイルプロパティ

部品全体のスタイルプロパティを以下に示します。

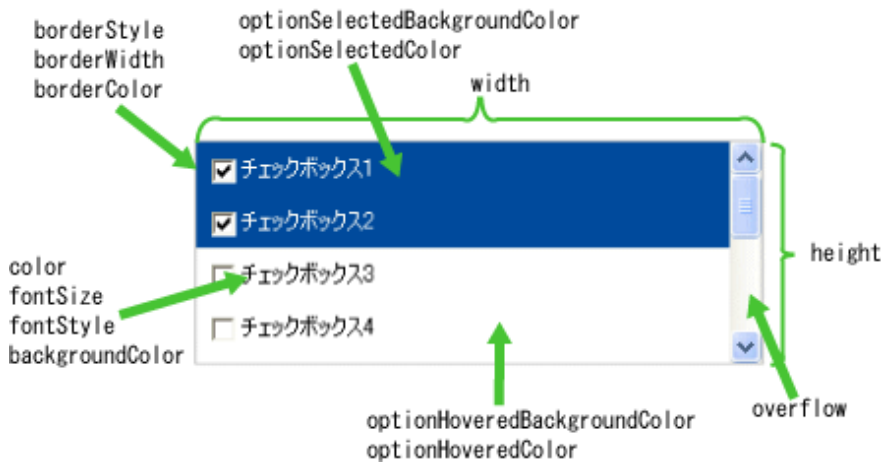
パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-CheckList	<ul style="list-style-type: none"> • サイズ • カラー • フォント(lineHeightを除く) • テキスト(textIndent、textAlign、whiteSpaceを除く) • ボーダー • パディング

詳細は、“2.6 スタイルプロパティ”を参照してください。

選択項目のスタイル

プレフィックス	クラス	スタイルプロパティ	説明	デフォルト
optionSelected (選択項目)	rcf-CheckList-optionSelected	backgroundC olor	選択項目の背景色を指定します。	#004E98
		color	選択項目のフォント色を指定します。	#FFFFFF(白)
optionHovered (マウスオーバー項目)	rcf-CheckList-optionHovered	backgroundC olor	マウスオーバー項目の背景色を指定します。	#316AC5
		color	マウスオーバー項目のフォント色を指定します。	#FFFFFF(白)

図2.5 表示とスタイルプロパティの関係



表示領域よりも選択項目のサイズが大きくなった場合、以下のように表示されます。

- 横方向に大きくなった場合:
表示領域を超えた部分は隠されます。(横スクロールバーは表示されません。)
- 縦方向に大きくなった場合:
スクロールバーの操作によって全体を表示することができます。

補足事項

- **Tabキーによるフォーカス移動について**
単一選択の場合、Tabキーによるフォーカス移動を行うと、部品内のラジオボタンにフォーカスが移動します。次の部品にフォーカスを移動するには、もう一度Tabキーを押下してください。

2.2 コンテナ部品

コンテナ部品は、複数の画面部品を配置することができる部品です。

ここでは、コンテナ部品の設定内容、および設定方法について説明します。

2.2.1 ViewContainer

ViewContainerは、画面情報(コンテナ)を指定する部品です。

ViewContainerは、子要素にHTML要素を持つことができ、HTML要素をまとめて部品として扱うことができます。ViewStackまたはTabPanelで、切り替える画面の単位を指定するために使用します。

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMViewContainer" ... >  
  HTML要素  
</div>
```

ポイント

子要素には、HTML要素およびUI部品を指定できます。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
label	String	タブパネル子要素として利用する場合のタブ名を指定します。	可	""

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

スタイルプロパティ

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-ViewContainer	<ul style="list-style-type: none">・ サイズ・ カラー・ ボーダー・ パディング・ オーバーフロー

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

補足事項

ViewContainerは、[ViewStack](#)や[TabPanel](#)と組み合わせて使用する部品です。

ViewContainerを単体で使用した場合、通常の<div>要素と同様に描画されます。

ViewContainerには、AdvancedカテゴリのUI部品のみ追加することができます。BasicカテゴリのUI部品は追加できません。

2.2.2 Panel

Panelは、タイトル部とボディ部でできている画面情報(コンテナ)を指定する部品です。

表示例



記述形式

```
<div rcf:type="IBPMPanel" ... >  
  HTML要素  
</div>
```

ポイント

子要素には、HTML要素およびUI部品を指定できます。子要素に定義されたHTML要素は、ボディ部の内容になります。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
label	String	タイトル部のラベルテキストを指定します。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。	可	""

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

スタイルプロパティ

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-Panel	<ul style="list-style-type: none">サイズ(注)カラーボーダーパディング
タイトル部	title	rcf-Panel-title	<ul style="list-style-type: none">サイズ(widthを除く)カラーフォントテキスト(white-spaceを除く)ボーダーパディングマージン
ボディ部	body	rcf-Panel-body	<ul style="list-style-type: none">カラーフォントテキストボーダーパディングオーバーフロー

注) widthのデフォルトは300pxです。

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

補足事項

Panelのサイズ

Panelのサイズについては、以下の注意事項があります。

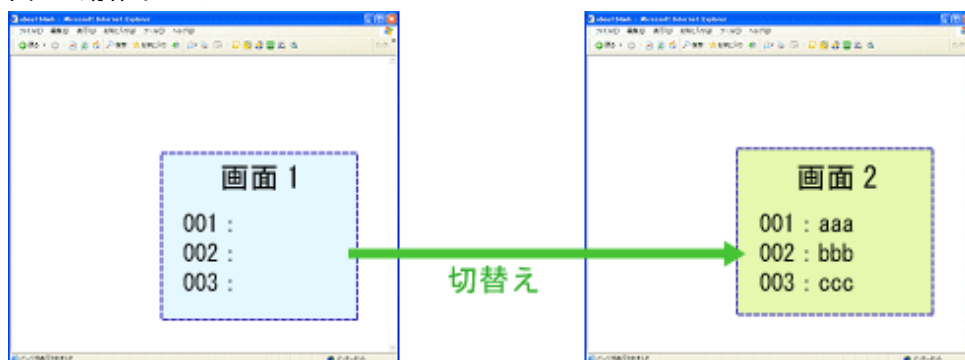
- 幅(width)と高さ(height)は、スタイルプロパティで指定してください。CSSで指定した場合、表示が崩れる可能性があります。
- 幅(width)と高さ(height)を設定する際の単位は、“px”にだけ対応しています。そのほかの単位による指定およびパーセント値(%)による指定をした場合、表示が崩れる可能性があります。
- ボディ部に100px×100pxの要素を配置できるサイズがPanelの最小サイズとなります。これより小さいサイズに変更しようとした場合、最小サイズに設定されます。

2.2.3 ViewStack

ViewStackは、切替え対象の画面情報(コンテナ)をグループ化する部品です。画面の同じ位置で表示を切り替える場合に利用します。

コンテナには、ViewContainerまたはFragmentContainerを利用できます。各画面の情報(HTMLコンテンツ)は、コンテナの子要素として記述します。

図2.6 動作イメージ



記述形式

```
<div rcf:type="IBPMViewStack" ... >  
  <div rcf:type="IBPMViewContainer">  
    HTML要素  
  </div>  
  <div rcf:type="IBPMFragmentContainer" rcf:src="about:blank">  
  </div>  
  ...  
</div>
```

ポイント

- 子要素は、1個以上記述してください。
- 子要素には、ViewContainerまたはFragmentContainerを記述します。
- 子要素にViewContainerおよびFragmentContainer以外のものを記述しても、表示することはできません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“プロパティ”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
selectedIndex	Number	<p>選択されている画面のインデックスを指定します。</p> <p>インデックスは、ViewStack子要素として定義されているコンテナの出現順に、0から1ずつ増分で自動採番されます。</p> <p>存在しないインデックスを指定した場合は、すべてのコンテナが不可視(visibility:hidden; display:none)になります。</p> <p>idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。</p> <p>詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。</p>	可	0
selectedIndexLock	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

スタイルプロパティ

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-ViewStack	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイズ ・ カラー ・ ボーダー ・ パディング ・ オーバーフロー

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

補足事項

ViewStack部品の内部に表示する内容(タイトル部含む)のサイズが、部品全体のサイズを超える場合、部品の描画が崩れる可能性があります。

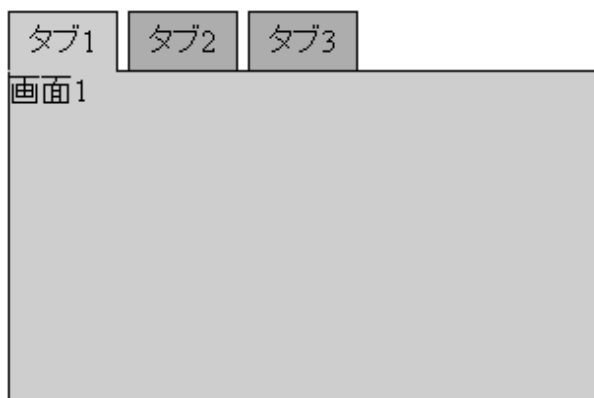
表示する内容が収まるように、部品全体のサイズを設定してください。

2.2.4 TabPanel

TabPanelは、タブによる切替え対象の画面情報(コンテナ)をグループ化する部品です。タブで画面の表示を切り替える場合に利用します。

タブやタブ内のフォーム部品にフォーカスがある場合、キー操作でタブを切り替えることができます。また、タブ切替えキーをカスタマイズすることもできます。

表示例



記述形式

```
<div rcf:type="IBPMTabPanel" ... >
  <div rcf:type="IBPMViewContainer" rcf:label="タブ1">
    HTML要素
  </div>
  <div rcf:type="IBPMFragmentContainer" rcf:label="タブ2">
  </div>
  ...
</div>
```

ポイント

- 子要素は1個以上記述してください。
- 子要素には、切り替える画面単位にコンテナ要素を記述します。コンテナ要素として、[ViewContainer](#)と[FragmentContainer](#)が利用できます。
- 子要素にViewContainerおよびFragmentContainer以外のものを記述しても、表示することはできません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
selectedIndex	Number	選択されている画面のインデックスを指定します。 インデックスは、TabPanel子要素として定義されているコンテナの出現順に、0から1ずつ増分で自動採番されます。 存在しないインデックスを指定した場合は、すべてのコンテナが不可視(visibility:hidden; display:none)になります。 idプロパティにUDAを指定した場合、初期化時にUDAの値が設定されます。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。	可	0
tabPosition	String	タブ表示位置を指定します。	可	TOP_LEFT

名前	データ型	説明	省略	省略値
nextKey	String	次のタブに切り替えるキーを指定します。 “ キーの指定 ”を参照してください。	可	Ctrl+→カーソルキー ("39+CTRL")
previousKey	String	前のタブに切り替えるキーを指定します。 “ キーの指定 ”を参照してください。	可	Ctrl+←カーソルキー ("37+CTRL")
tabSeparator	Boolean	タブの間に隙間をあけるかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:隙間あり • false:隙間なし 	可	true
tabRenderer	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
tabIndex	Number	TABキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 フォーカスは、タブ部に対して設定されます。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0
selectedIndexLock	Boolean	画面切替を抑止するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true: 抑止する 画面を切り替えることはできません。 • false: 抑止しない 	可	false

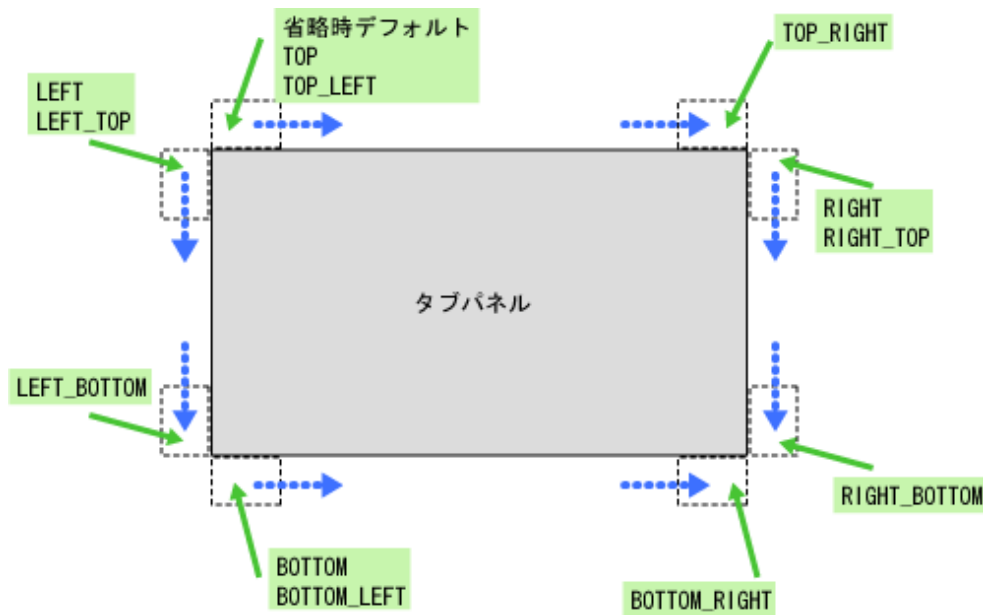
ViewContainerのプロパティも指定できます。ここで説明を省略しているプロパティの詳細は、“[2.2.1 ViewContainer](#)”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

タブの基準位置の指定

tabPositionプロパティで、1番目タブの表示位置と2番目以降のタブの追加方向を指定できます。

- 大文字/小文字を区別しません。
- 青色の破線矢印は、2番目以降のタブの追加方向を示します。
- タブ内のラベル文字は、タブ表示位置にかかわらず、左から右になります。



キーの指定

nextKeyプロパティ、previousKeyプロパティでは、選択するタブを切り替えるキーを指定します。キーには、“+”を区切り文字として、以下を指定できます。

- 数字または別名:キーコード
- ALT:Altキー
- CTRL:Ctrlキー
- SHIFT:Shiftキー

キーコードは必須で、最初に指定する必要があります。

指定例を以下に示します。

指定例	内容
13	Enterキー
13 + SHIFT	Enterキー + Shiftキー
13 + CTRL + SHIFT	Enterキー + Ctrlキー + Shiftキー
SHIFT	キーコードが指定されていないので、設定不可
CTRL+13	キーコードが最初に指定されていないので、設定不可

キーコードには、数字の直接指定のほか、以下の別名を指定することができます。別名による指定は、その別名が表すキーの実際のキーコードを指定した場合と同様に動作します。例えば、“ENTER+SHIFT”は、“13+SHIFT”と同じ値として扱います。

別名	対象となるキー	実際のキーコード
BACKSPACE	Backspaceキー	8
TAB	Tabキー	9
ENTER	Enterキー	13
ESC	Escキー	27
SPACE	スペースキー	32
PAGEUP	PageUpキー	33

別名	対象となるキー	実際のキーコード
PAGEDOWN	PageDownキー	34
END	Endキー	35
HOME	Homeキー	36
LEFT	←(左カーソルキー)	37
UP	↑(上カーソルキー)	38
RIGHT	→(右カーソルキー)	39
DOWN	↓(下カーソルキー)	40
INSERT	Insertキー	45
DELETE	Deleteキー	46
F1	F1キー	112
F2	F2キー	113
F3	F3キー	114
F4	F4キー	115
F5	F5キー	116
F6	F6キー	117
F7	F7キー	118
F8	F8キー	119
F9	F9キー	120
F10	F10キー	121
F11	F11キー	122
F12	F12キー	123

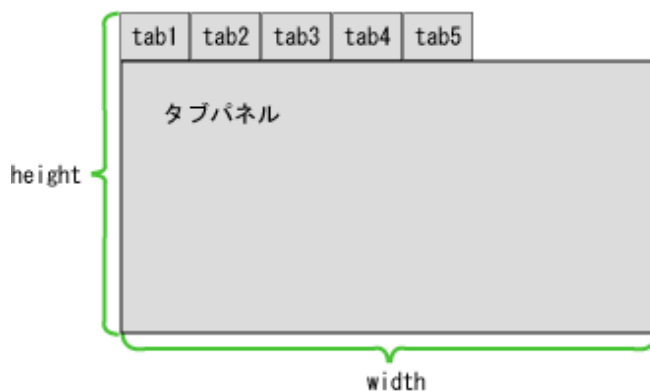
スタイルプロパティ

幅と高さ

TabPanelの幅と高さは、heightプロパティおよびwidthプロパティで指定します。各プロパティは、タブの高さ(幅)を含みます。

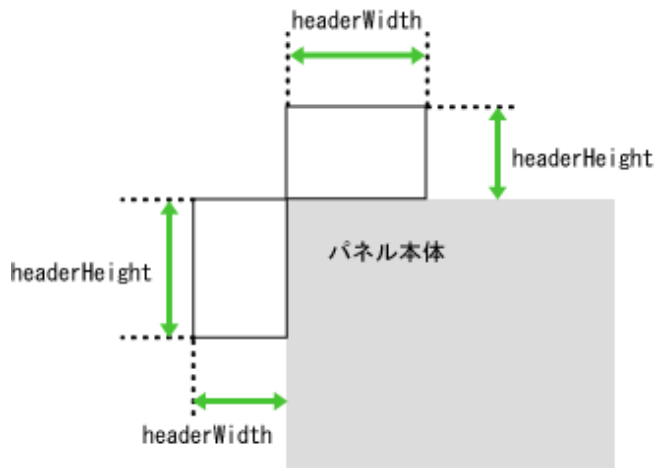
デフォルトでは、widthが100%、heightがautoとなっています。

heightがautoの場合、タブパネルの高さは、パネルに表示されるViewContainerまたはFragmentManagerの高さに合わせて変動します。



タブのサイズ指定

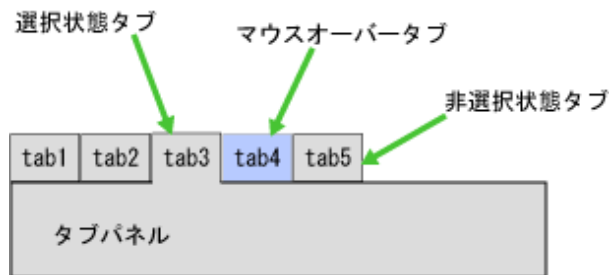
タブの位置に関わらず、headerWidthプロパティおよびheaderHeightプロパティの省略値はautoです。



タブを左右に配置する場合、タブの幅はタブに表示する最長の文字列に依存します。
 タブを上下に配置する場合、タブの幅は表示する文字列に依存して個々に異なります。

全体の装飾プロパティ

以下の図に示します。



スタイルプロパティ

部品名	プレフィックス	クラス名	スタイル分類	説明
全体	なし	rcf-TabPanel	・ サイズ	部品全体のサイズ
ヘッダ	header	rcf-TabPanel-header	・ サイズ	タブ部分のサイズ タブ位置により heightまたはwidth が指定可能
ボディ	body	rcf-TabPanel-body	・ カラー ・ ボーダー ・ パディング	ボディ部分
タブ	tab	rcf-TabPanel-tab	・ カラー ・ フォント ・ テキスト ・ ボーダー ・ パディング	個々のタブのスタイル
選択状態タブ	tabSelected	rcf-TabPanel-tabSelected	・ カラー ・ フォント ・ テキスト	選択されているタブのスタイル

部品名	プレフィックス	クラス名	スタイル分類	説明
			<ul style="list-style-type: none"> ・ ボーダー ・ パディング 	
マウスオーバータブ	tabHovered	rcf-TabPanel-tabHovered	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラー ・ フォント ・ テキスト ・ ボーダー ・ パディング 	マウス位置にあるタブのスタイル
セパレータ	tabSeparator	rcf-TabPanel-tabSeparator	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイズ ・ ボーダー 	タブ間の幅を指定 TOP/BOTTOMではwidth LEFT/RIGHTではheight
ブランク	tabBlank	rcf-TabPanel-tabBlank	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボーダー ・ パディング 	タブのある辺のタブ部分以外のスタイル

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

選択タブとマウスオーバータブが重なった場合

選択タブとマウスオーバータブが重なった場合は、タブのスタイルクラスに、tabSelected、tabHoveredの順に宣言します。

CSSでだけ指定可能なスタイル

tab、tabSelected、tabHovered、tabSeparator、tabBlankは、CSSでだけ指定できます。

カスタマイズ上の注意

ボディとタブのデフォルトのスタイル設定は、タブの位置に依存して、上下左右で異なるため、カスタマイズの際は注意が必要です。デフォルトのスタイル設定は、以下のとおりです。

ー ボディ

- タブのある辺: border-style: none
- タブのない3辺: border-style: solid

ー タブ

- 4辺とも border-color: #000
ただし、タブが選択状態でかつマウスがタブ上にはない場合は、ボディに接する辺のボーダーの色がタブのbackground-colorに合わせられます。
カスタマイズで背景色を変えた場合も同様です。

補足事項

TabPanelのサイズについて

- ・ スタイルのカスタマイズにおいて、サイズの単位は“px”にだけ対応しています。ボーダーの幅やマージン、パディングに関しても同様です。そのほかの単位による指定をした場合、表示が崩れる可能性があります。
- ・ TabPanel部品の内部に表示する内容(タイトル部含む)のサイズが、部品全体のサイズを超える場合、部品の描画が崩れる可能性があります。
表示する内容が収まるように、部品全体のサイズを設定してください。

フォーカスについて

TABキーでTabPanelにフォーカスを移動させた場合は、ヘッダ部分にフォーカスが当たった状態になります。また、nextKeyおよびpreviousKeyで指定したキーでタブを切り替えたあとも、ヘッダ部分にフォーカスが当たります。

ヘッダ部分へのフォーカスは、個々のタブ単位ではなく、ヘッダ部分全体に対してフォーカスが当たった状態になります。

ボディ内に記述されている部品にフォーカスが当たっている場合、`nextKey`および`previousKey`によるタブ切替えは可能ですが、TABキーでのフォーカス移動は、`TabPanel`ではなく、フォーカスが直接当たっている部品が対象になります。

タブ切替えキー(`nextKey`、`previousKey`)の設定について

- ・ グローバルイベント制御を行っているキーがタブ切替えキーに指定された場合、予期しない動作をする場合があります。タブ切替えキーには、それらと干渉しないキーを設定してください。
- ・ ブラウザのショートカットキーなど一致するキーがタブ切替えキーに指定された場合、タブ切替え処理が優先され、元々の処理がキャンセルされる場合があります。タブ切替えキーには、有効にしたいショートカットなどと干渉しないキーを設定してください。

例)

“66+CTRL(Ctrl + B)”をタブ切替えキーに指定した場合、機能付加対象の部品でCtrl + Bを入力しても、以下のブラウザの標準動作が行われなくなります。

- お気に入りの整理
- ブックマークの表示

- ・ 数字や文字をタブ切替えキーに割り当てる場合は、CTRLまたはALTと組み合わせて、指定してください。数字や文字のキーを単独でタブ切替えキーに割り当てた場合、IMEが有効になっているとキーコードを判別できないため、タブの切替えが正常に行われません。

2.2.5 FragmentContainer

`FragmentContainer`は、画面情報(コンテナ)を別ファイルで指定する部品です。

`ViewContainer`は子要素として同一ファイル内にHTML要素を記述するのに対して、`FragmentContainer`は別ファイルに記述します。

`FragmentContainer`内のHTML(以降、フラグメントHTMLと呼びます)は、非同期通信によるデータの取得処理が開始されます。なお、フラグメントHTMLは、単体のHTMLとしてDTDに適合していません。

取得後のフラグメントHTMLは、`FragmentContainer`を記述したHTML(以降、コンテナHTMLと呼びます)に挿入されて、データが反映されます。

用途の例を以下に示します。

- ・ 初期化処理の高速化
 `TabPanel`や`ViewStack`と組み合わせて、コンテナの内容を遅延読み込みさせます。
- ・ 分散開発
 開発資産(ファイル)が分割されるので、分散して開発できます。

記述形式


```
<div rcf:type="IBPMFragmentContainer" rcf:src="about:blank" ... ></div>
```



注意

子要素は指定できません。詳細は、“[4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作](#)”を参照してください。

図2.7 FragmentContainerの利用イメージ
コンテナ HTML の記述イメージ

```
<html>
<div rcf:id="uda_Variable1"
rcf:type="IBPMFragmentContainer"
rcf:src="about:blank" >

</div>
</html>
```

フラグメント HTML の記述例

```
<div rcf:id="uda_0685861775"
rcf:type="IBPMText"
rcf:value="Name:">
</div>
<div rcf:id="uda_name"
rcf:type="IBPMTextInput">
</div>
<div rcf:id="uda_0439885142"
rcf:type="IBPMText"
rcf:value="Address:">
</div>
<div rcf:id="uda_address"
rcf:type="IBPMTextInput">
</div>
```

activate メソッド
により取込み開始

フラグメントHTMLは、通常のHTMLと同様に、UI部品を利用できます。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
src	String	Interstage BPM Studioでは、変更できません。必ず、“about:blank”を指定します。 idプロパティには、フラグメントHTMLを取得するURLを設定したUDAを必ず指定してください。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。	不可	—
showStatus	Boolean	activate前のFragmentContainerの状態(初期化直後、ロード中、エラーなど)の表示/非表示を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:表示する • false:表示しない 	可	true
statusIconImage	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
timeout	Number	フラグメントHTMLの取得開始から取得完了までの最大待ち時間を指定します。単位は、ミリ秒です。 1より小さい数値を指定した場合は、エラーとなります。	可	60000(60秒)

ViewContainerのプロパティも指定できます。ここで説明を省略しているプロパティの詳細は、“[2.2.1 ViewContainer](#)”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

スタイルプロパティ

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf- FragmentCont ainer	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイズ ・ カラー ・ ボーダー ・ パディング ・ オーバーフロー

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

補足事項

- ・ FragmentContainerは、[ViewStack](#)や[TabPanel](#)と組み合わせて利用することができます。
- ・ FragmentContainerを単体で使用した場合、activate完了後は、通常の<div>タグと同様に表示されます。
- ・ フラグメントHTMLは、HTMLのボディに追加されます。そのため、HTMLのヘッダに記述する要素を、フラグメントHTMLに記述することはできません。
- ・ FragmentContainerに割り当てられたUDAの値は、実行時にエンコードされ、srcプロパティに設定されます。
- ・ QuickFormの開発時には、rcf:srcの値("about:blank")を変更しないでください。rcf:srcの値を変更した場合、以下のいずれかのメッセージが表示されます。
 - ー オブジェクトを指定してください。
 - ー 'excArrayObj'は宣言されていません。

注意

- ・ FragmentContainerには、AdvancedカテゴリのUI部品のみ追加することができます。BasicカテゴリのUI部品は追加できません。
- ・ フラグメントHTMLを使用する場合、以下の操作を行う必要があります。

1. [新規 QuickForm]ウィザードダイアログで、フラグメントHTML(*.jsp)を作成します。
Ajaxページエディタが表示されます。
2. Ajaxページエディタのソースビューで、以下の行以外を削除します。

```
<script type="text/javascript" src="../../rcf_config.js" charset="UTF-8"></script>
<script type="text/javascript" src="../../acf/file/rcf/rcf.js" charset="UTF-8"></script>
<body>
</body>
```

srcパラメタに定義するファイルのパスについては、『[Interstage BPM Studioユーザーズガイド](#)』の「[8.2 Ajaxページエディタの概要](#)」を参照してください。

3. フラグメントHTMLに必要なUI部品を定義します。
4. このアプリケーションのアップロードまたはエクスポートを行う場合は、Ajaxページエディタのソースビューで、以下の行を削除した後に、アップロードまたはエクスポートを実行します。

```
<script type="text/javascript" src="../../rcf_config.js" charset="UTF-8"></script>
<script type="text/javascript" src="../../acf/file/rcf/rcf.js" charset="UTF-8"></script>
<body>
</body>
```

srcパラメタに定義するファイルのパスについては、『[Interstage BPM Studioユーザーズガイド](#)』の「[8.2 Ajaxページエディタの概要](#)」を参照してください。

5. フラグメントHTMLを再度更新する場合は、4.で削除した行を追加します。

2.3 テーブル部品

テーブル部品は、テーブルの表示や編集にかかわる部品です。

ここでは、テーブル部品の設定内容、および設定方法について説明します。

ポイント

TableViewおよびTableEditは、比較的シンプルな構造のテーブルに向いています。テーブルの編集が必要な場合はTableEdit、編集をしない場合はTableViewを使用してください。TableViewおよびTableEditは、XML型のUDAまたはユーザ定義型UDAを使用します。

2.3.1 TableView

TableViewは、2次元のデータを表形式で表示する部品です。

表示例

	品名	価格	販売開始日	
1	AAA	1000	2006/06/08	
2	BBB	2000	2006/06/09	
3	CCC	3000	2006/06/10	
4	DDD	4000	2006/06/11	
5	EEE	5000	2006/06/12	
6	FFF	6000	2006/06/13	
7	GGG	6000	2006/06/14	
8	HHH	5000	2006/06/15	
9	III	4000	2006/06/16	
10	JJJ	3000	2006/06/17	
11	KKK	2000	2006/06/18	
12	LLL	1000	2006/06/19	
13	MMM	2000	2006/06/20	

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMTableView" rcf:id="uda_XMLVariable">
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="品名" rcf:propertyName="name"></div>
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="価格" rcf:propertyName="price"></div>
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="販売開始日" rcf:propertyName="date"></div>
</div>
```

ポイント

- 子要素には、テーブルの定義情報であるViewColumnを記述します。ViewColumnを省略することもできます。省略した場合は、このUI部品に関連付けたXML型UDAの値に定義されているXMLのタグ名が、テーブルのカラム名に使用されます。
- 本部品は、前後に改行コードが挿入されて表示されます。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“プロパティ”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
data	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。 テーブルに表示するデータを定義するために、idプロパティにXML型のUDAまたはユーザ定義型UDAを指定します。 詳細は“ idプロパティと表示データの指定方法 ”を参照してください。 UDAの指定方法についての詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。	-	-
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 要素ノードのxpathまたは、値全体を表すxpath("/")を指定できます。	可	/
showColumnHeader	Boolean	列のヘッダの有無を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:表示する • false:表示しない マウスで列幅を変更できません。列のヘッダをクリックしてソートしたり、列を選択したりできません。 	可	true
showRowHeader	Boolean	行のヘッダの有無を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:表示する • false:表示しない 行のヘッダをクリックして行を選択できません。 	可	false
showDummyColumn	Boolean	ダミーの列の有無を指定します。表示領域を埋めるために使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:表示する • false:表示しない 	可	true
columnWidthResizable	Boolean	列幅を変更可能にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:変更可 • false:変更不可 	可	true
defaultColumnWidth	Number	デフォルトの列幅を指定します。単位はピクセルです。 最小値は10です。10未満の数値を指定した場合、エラーとなります。	可	80
selectedRows	Array	選択されている行の行インデックスの配列を指定します。	可	[]
multipleSelect	Boolean	行の複数選択または単一選択を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true:複数選択 	可	false

名前	データ型	説明	省略	省略値
		・ false: 単一選択		
tabIndex	Number	TABキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

ポイント

- 行のソートについて
通常は、設定した行列データのインデックス順に表示されます。列ヘッダの各列の表示領域をクリックすると、その列のデータをキーに表示データ全体がソートされます。また、行のソートを行うと、dataプロパティの内容もソートされます。UDAを指定した場合、UDAの値もソートされます。
1回目のクリックでは昇順にソートされ、2回目は降順にソートされます。3回目以降は交互に昇順、降順とソートされます。行のフォーカス状態と選択状態はソート時に解除されます。
- ダミー列について
テーブルを構成する行および列を合計した表示領域の大きさより、テーブル全体の表示領域が大きい場合、その隙間を埋めるためのダミー列を表示することができます。
ダミー列はテーブルの右端に配置されます。

idプロパティと表示データの指定方法

テーブルに表示するデータをXML型のUDAまたはユーザ定義型のUDAで指定します。XML型のUDAの場合、UDAの値には、2階層のXMLデータを設定します。ユーザ定義型のUDAの場合、xpathプロパティに対象とするデータのxpathを指定し、そのxpathから2階層のXMLデータを設定します。XML型のUDAの例を以下に示します。

```

<scores>
  <score>
    <id>ID0001</id>
    <name>Andy</name>
    <score>90</score>
  </score>
  <score>
    <id>ID0002</id>
    <name>Bob</name>
    <score>80</score>
  </score>
  <score>
    <id>ID0003</id>
    <name>Cindy</name>
    <score>100</score>
  </score>
  <score>
    <id>ID0004</id>
    <name>Yolanda</name>
    <score>90</score>
  </score>
</scores>

```

上記の例では、TableView、および、3つのViewColumnのpropertyNameプロパティ(id, name, score)は、以下のように指定されます。

```

<div rcf:type="IBPMTableView" rcf:id="uda_XMLVariable" rcf:selectedRows="" rcf:multipleSelect="false">
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="ID" rcf:propertyName="id"></div>
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="名前" rcf:propertyName="name"></div>

```

```
<div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="スコア" rcf:propertyName="score"></div>  
</div>
```

UDAの指定方法についての詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。
XMLタグに指定された各項目は、以下のようにセルに設定されます。

ID	名前	スコア	
ID0001	Andy	90	
ID0002	Bob	80	
ID0003	Cindy	100	
ID0004	Yolanda	90	

TableViewの子要素にViewColumnが指定されていない場合の動作

TableViewの子要素にViewColumnが指定されていない場合、テーブルには何も表示されません。

列幅の変更

マウスにより列幅変更を行う場合、マウスによるドラッグが有効なのはブラウザ内だけです。

ドラッグしたまま、ブラウザ外までマウスを移動し、そこでマウスボタンを離してドロップを行っても検知できないため、TableViewはドラッグされたままの状態になります。

その場合は、ブラウザ内で再度クリックすると、列幅変更が実行されます。

TableViewのフォーカス

TableViewには、以下の方法でフォーカスを当てることができます。フォーカスはTableView全体に当たり、フォーカスがある状態ではキーボードによる操作が可能になります。

- ブラウザが提供するTabキーおよびTab+SHIFTキーによるフォーカス移動
- TableViewをマウスでクリック

フォーカスがある場合、TableViewの外枠にフォーカスがあることを示すアウトラインが表示されます。また、フォーカスが当たったとき、TableView内では、以下の行にフォーカスが当たり、キーボードによりフォーカス行を移動させることができます。

- Tabキーによるフォーカス移動で、TableViewにフォーカスが当たった場合
以前フォーカスを失ったときのフォーカス行に、フォーカスが当たります。初めてフォーカスが当たった場合は、最初の行にフォーカスが当たります。
- マウスでクリックされたことによりTableViewにフォーカスが当たった場合
行がクリックされた場合は、その行にフォーカスが当たります。それ以外をクリックした場合は、Tabキーによるフォーカス移動で、TableViewにフォーカスが当たった場合と同様になります。

注意

- TableView内のスクロールバーをクリックすると、TableViewからフォーカスが外れます。
- TableViewのデータが空であった場合、行にフォーカスは当たりません。

マウス操作

以下の表に示します。

操作		処理	
		単一選択モード	複数選択モード
行でクリック	なし	クリックした行を選択します。 ダミー列のセルをクリックしても選択されません。	ほかの選択状態を解除し、クリックした行だけ選択します。 ダミー列のセルをクリックしても機能しません。
	+Shift		直前に選択/解除した行からクリックした行までを範囲選択します。 直前に選択された行がなければ、その行だけを選択範囲とします。 ダミー列のセルをクリックしても機能しません。
	+Ctrl		クリックした行の選択状態を切り替えます。 ダミー列のセルをクリックしても機能しません。
列ヘッダでクリック	なし	クリックした列を元にソートを実行します。	ほかの選択状態を解除し、クリックした列を元にソートを行います。
	+Shift		
	+Ctrl		
行ヘッダでクリック	なし	クリックした行を選択します。	ほかの選択状態を解除し、クリックした行を選択します。
	+Shift		直前に選択した行からクリックした行までを範囲選択します。直前に選択された行がなければ、その行だけを選択範囲とします。
	+Ctrl		クリックした行の選択/解除を切り替えます。

キーボード操作

キーボード操作は、TableViewにフォーカスが当たっている場合に有効になります。

操作		処理	
		単一選択モード	複数選択モード
スペース	なし	フォーカス行を選択します。	フォーカス行を選択します。
	+Shift		直前に選択/選択解除した行からフォーカスのある行までを範囲選択します。
	+Ctrl		フォーカスのある行の選択状態を切り替えます。
↑		フォーカスを上の行に移動します。	
↓		フォーカスを下の行に移動します。	
←		スクロールバーが表示されている場合、左側にスクロールします。	
→		スクロールバーが表示されている場合、右側にスクロールします。	
Home		フォーカスを先頭行に移動します。	
End		フォーカスを最終行に移動します。	
PageUp		スクロールバーが表示されている場合、上にスクロールします。	
PageDown		スクロールバーが表示されている場合、下にスクロールします。	

スタイルプロパティ

テーブルのスタイル

パーツ名	プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-IBPMTableView	・ サイズ
列ヘッダ	ccell	rcf-IBPMTableView-ccell	・ フォント(lineHeightを除く) ・ セル
セル	cell	rcf-IBPMTableView-cell	・ カラー ・ フォント(lineHeightを除く) ・ ボーダー(borderWidthを除く) ・ セル

ポイント

ー テーブルの幅と高さの指定について

- テーブルの幅(width)と高さ(height)は、“px”指定だけ対応しています。
そのほかの単位およびパーセント値(%)による指定をした場合、動作が不定になります。
- テーブルの幅と高さを小さくすると、スクロールバーが表示されなくなるなど、表示が崩れる場合があります。幅、高さ共に100px未満の値を設定した場合、100pxで表示されます。
- 列ヘッダのセルの内容が自動改行により複数行で表示される場合、列ヘッダの高さが自動的に調整されるようになっています。これにより、テーブルの高さが指定されたものよりも大きくなる場合があります。
- テーブルのデフォルトの幅と高さは、それぞれ400px(幅)、300px(高さ)です。

ー セルの内容の表示について

各セルの表示は、デフォルトでは改行しないようになっています。自動改行を行いたい場合は、列ヘッダ部はccellWhiteSpaceで、セルはcellWhiteSpaceで、normalを指定してください。CSSでも指定することができます。

ー ボーダーについて

列ヘッダおよびセルのボーダーに関する注意事項は以下のとおりです。

- ボーダーの幅は、1pxに固定されています。変更することはできません。
そのため、ボーダーのスタイルに二重線などを指定した場合、実線と区別がつかないことがあります。
- デフォルトでは表示の見栄えを良くするために、左上のボーダーの色は白になっています。

ー 行ヘッダの左右と、列ヘッダの下端領域について

行ヘッダの左右、および列ヘッダの下端(下部スクロールバーの左)の領域の色は、カスタマイズできません。

操作によるスタイル変更

操作によるスタイルは、CSSでだけ設定することができます。

列ヘッダのセルにマウスがある場合のスタイルを以下に示します。

プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
ccellHovered	rcf-IBPMTableView-ccellHovered	・ カラー

行にフォーカスがある場合のスタイルを以下に示します。

プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
rowFocused	rcf-IBPMTableView-rowFocused	・ カラー

行が選択された場合のスタイルを以下に示します。

プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
rowSelected	rcf-IBPMTableView-rowSelected	・ カラー

詳細は、“2.6 スタイルプロパティ”を参照してください。

2.3.2 TableEdit

TableEditは、2次元のデータを表形式で表示し、編集することもできる部品です。

注意

- 本部品では、行のソートはできません。
- テーブルに表示されているデータにXML型のUDAの値を指定する場合、XML型のUDAの値には、2階層のXMLデータを設定しなければなりません。それ以外の階層のデータはエラーとなります。
- テーブルに表示されているデータにユーザ定義型のUDAの値を指定する場合、xpathプロパティに対象とするデータのxpathを指定し、そのxpathから2階層のXMLデータを設定しなければなりません。それ以外の階層のデータはエラーとなります。
- UDAの値にコメントや属性が含まれている場合、TableEditで編集したデータを保存すると、UDAに含まれていたコメントや属性が削除されます。

表示例

	品名	価格	販売開始日	
1	AAA	1000	2006/06/08	
2	BBB	2000	2006/06/09	
3	CCC	3000	2006/06/10	
4	DDD	4000	2006/06/11	
5	EEE	5000	2006/06/12	
6	FFF	6000	2006/06/13	
7	GGG	6000	2006/06/14	
8	HHH	5000	2006/06/15	
9	III	4000	2006/06/16	
10	JJJ	3000	2006/06/17	
11	KKK	2000	2006/06/18	
12	LLL	1000	2006/06/19	
13	MMM	8000	2006/06/20	

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMTTableEdit" rcf:id="uda_XMLVariable">
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="品名" rcf:propertyName="name"></div>
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="価格" rcf:propertyName="price"></div>
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="販売開始日" rcf:propertyName="date"></div>
</div>
```

ポイント

- 子要素には、テーブルの定義情報であるViewColumnを記述します。ViewColumnを省略することはできません。
- 本部品は、前後に改行コードが挿入されて表示されます。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
editable	Boolean	セルの内容を編集可能にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none">• true:編集可• false:編集不可 ViewColumn のeditableプロパティの値に関わらず、すべてのセルが編集不可になります。	可	true
selectedCell	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
innerTabMove	Boolean	Tabキーによるセルのフォーカス移動操作の有効/無効を指定します。 <ul style="list-style-type: none">• true:有効にする• false:無効にする	可	true

TableViewのプロパティも指定できます。ここで説明を省略しているプロパティの詳細は、“[2.3.1 TableView](#)”の“[プロパティ](#)”を参照してください。ただし、以下のプロパティの初期値は変更しています。

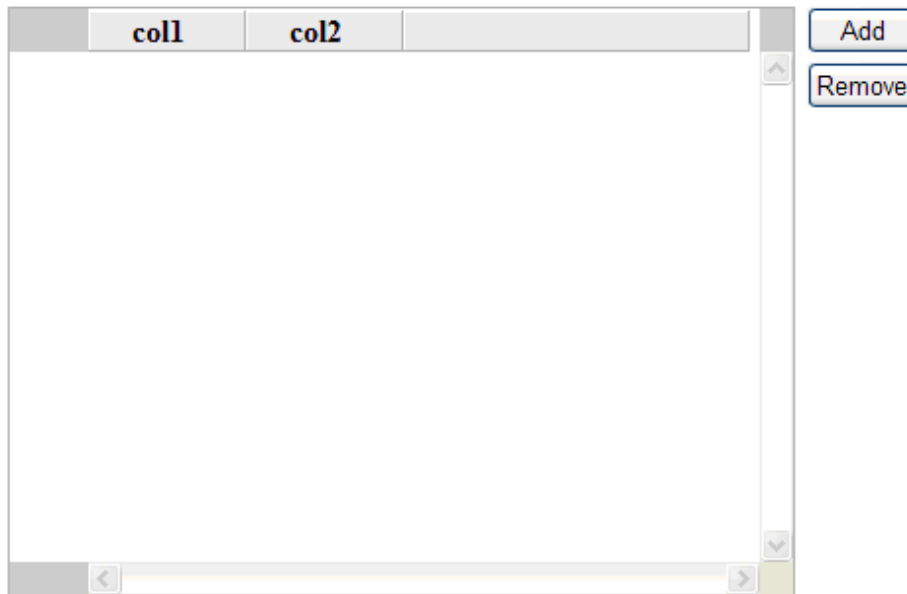
- showRowHeader: true
- multipleSelect: true
- showDummyColumn: false

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

ポイント

パレットでTableEditを選択し、Ajaxページエディタに配置すると、以下のUI部品が定義されます。

- TableEdit
- Addボタン: テーブルに新しい行を追加するボタン
- Removeボタン: 選択している行を削除するボタン



TableEditにUDAを関連付けて、行の追加および削除を可能にしたい場合、以下のプロパティ値に“uda_<UDAの識別子>”の形式でUDAを指定します。

- TableEditのidプロパティ
- Add/RemoveボタンのtargetTableIdプロパティ

また、Add/Removeボタンに表示する文字列を変更したい場合は、各ボタンのlabelプロパティで指定します。

例. ボタンに表示する文字列を“追加”、“削除”にする場合

```
<div rcf:type="IBPMBUTTONFORTABLE" rcf:label="追加" rcf:targetTableId="uda_tableData" rcf:removeActionFlag="false"></div>
<div rcf:type="IBPMBUTTONFORTABLE" rcf:label="削除" rcf:targetTableId="uda_tableData" rcf:removeActionFlag="true"></div>
```

注意

TableEditと関連付けたUDAの値が空文字列の場合、行が存在しないTableが表示されます。その状態でAddボタンを押下しても、行は追加されません。Addボタンを押下して行を追加するためには、あらかじめTableに行が存在しなければなりません。

ポイント

- 値の入力について
セルをマウスでダブルクリックしたとき、またはセルにフォーカスがある状態でEnterキーを押したとき、入力フィールドが表示され、文字を入力することができます。キーを押した場合、選択セルの内容はクリアされ、押されたときの文字はセルに入力されます。
- テーブルの初期値と編集されたテーブルデータ保存について
テーブルに表示する初期値は、XML型のUDAまたはユーザー定義型のUDAで指定できます。詳細は、“[2.3.1 TableView](#)”の“[プロパティ](#)”を参照してください。また、編集されたデータは、UDAに保存されます。

TableEditの子要素にViewColumnが指定されていない場合の動作

TableEditの子要素にViewColumnが指定されていない場合、テーブルには何も表示されません。

値の編集について

TableEditでは、値を編集することができます。値を編集する場合は、ViewColumnでTextInputを指定する必要があります。

行の選択について

行ヘッダ部をクリックすることで、行の選択ができます。

行の選択を行う場合は、行ヘッダ部が表示されている必要がありますので、showRowHeaderプロパティにtrueを指定してください。

列幅変更の注意事項

TableViewの列幅の変更と同様です。

TableEditのフォーカス

TableEditには、以下の方法でフォーカスを当てることができます。フォーカスがある状態ではキーボードによる操作が可能になります。

- ブラウザが提供するTabキーおよびTab+SHIFTキーによるフォーカス移動
- TableEditをマウスでクリック

フォーカスがある場合、TableEditの外枠にフォーカスがあることを示すアウトラインが表示されます。また、フォーカスが当たったとき、TableEdit内では、以下の行にフォーカスが当たり、キーボードによりセルに対するフォーカスを移動させることができます。

- Tabキーによるフォーカス移動で、TableEditにフォーカスが当たった場合
以前フォーカスを失ったときにフォーカスがあったセルに、フォーカスが当たります。初めてフォーカスが当たった場合は、最初のセルにフォーカスが当たります。
- マウスでクリックされたことによりTableEditにフォーカスが当たった場合
セルがクリックされた場合は、そのセルにフォーカスが当たります。それ以外をクリックした場合は、Tabキーによるフォーカス移動で、TableEditにフォーカスが当たった場合と同様になります。

注意

- TableEdit内のスクロールバーをクリックすると、TableEditからフォーカスが外れます。
- セルを編集状態にした場合、TableEditからフォーカスが外れ、編集する入力部品にフォーカスが移ります。
- TableEditのデータが空であった場合、セルにフォーカスは当たりません。

マウス操作

以下の表に示します。

操作		処理	
		単一選択モード	複数選択モード
セルでクリック		クリックしたセルを選択します。 ダミー列のセルは選択できません。	
セルでダブルクリック		セルを編集状態に変更します。 ダミー列のセルは選択できません。	
行ヘッダ でクリック	なし	クリックした行を選択 します。	ほかの選択状態を解除し、クリックした行を選 択します。
	+Shift		直前に選択/解除した行からクリックした行まで を範囲選択します。
	+Ctrl		クリックした行の選択/解除を切り替えます。

キーボード操作

キーボード操作は、TableEditにフォーカスが当たっている場合に、有効になります。

操作	処理	
	単一選択モード	複数選択モード
スペース	フォーカスセルを選択します。	

操作	処理	
	単一選択モード	複数選択モード
↑	フォーカスを上のセルに移動します。	
↓	フォーカスを下のセルに移動します。	
←	フォーカスを左のセルに移動します。	
→	フォーカスを右のセルに移動します。	
Enter	セルの編集状態を切り替えます。 編集状態でない場合:フォーカスセルが編集可能であれば、編集状態に変更します。 編集状態の場合:入力内容を確定し、編集状態を解除します。	
ESC	編集状態の場合、入力内容を破棄し、編集状態を解除します。	
Tab	なし	フォーカスを右のセルに移動します。右端のセルの場合は、次の行の左端のセルに移動します。 最終セルの場合、ブラウザが提供するTabキーによるフォーカス移動が有効になり、TableEditからフォーカスが移動します。 また、innerTabMoveプロパティにfalseが設定されている場合、TableEditでは処理をしません。常にブラウザが提供するTabキーによるフォーカス移動が有効になり、TableEditからフォーカスが移動します。
	+Shift	フォーカスを左のセルに移動します。左端のセルの場合は、前の行の右端のセルに移動します。 ブラウザが提供するTab+SHIFTキーによるフォーカス移動が有効になり、TableEditからフォーカスが移動します。 また、innerTabMoveプロパティにfalseが設定されている場合、TableEditでは処理をしません。常にブラウザが提供するTab+SHIFTキーによるフォーカス移動が有効になり、TableEditからフォーカスが移動します。
Home	フォーカスを先頭セルに移動します。	
End	フォーカスを最終セルに移動します。	
PageUp	スクロールバーが表示されている場合、上にスクロールします。	
PageDown	スクロールバーが表示されている場合、下にスクロールします。	

スタイルプロパティ

テーブルのスタイル

パーツ名	プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-IBPMTTableEdit	・ サイズ
列ヘッダ	ccell	rcf-IBPMTTableEdit-ccell	・ フォント(lineHeightを除く) ・ セル
セル	cell	rcf-IBPMTTableEdit-cell	・ カラー ・ フォント(lineHeightを除く) ・ ボーダー(borderWidthを除く) ・ セル

ポイント

ー テーブルの幅と高さについて

- テーブルの幅(width)と高さ(height)は、“px”指定だけ対応しています。
そのほかの単位およびパーセント値(%)による指定をした場合、動作が不定になります。

- テーブルの幅と高さを小さくすると、スクロールバーが表示されなくなるなど、表示が崩れる場合があります。幅、高さ共に100px未満の値を設定した場合、100pxで表示されます。
 - 列ヘッダのセルの内容が自動改行により複数行で表示される場合、列ヘッダの高さが自動的に調整されるようになっています。これにより、テーブルの高さが指定されたものよりも大きくなる場合があります。
 - テーブルのデフォルトの幅と高さは、それぞれ400px(幅)、300px(高さ)です。
- セルの内容の表示について
各セルの表示は、デフォルトでは、改行しないようになっています。自動改行を行いたい場合は、列ヘッダ部は`ccellWhiteSpace`で、セルは`cellWhiteSpace`で、`normal`を指定してください。CSSでも指定することができます。
- ボーダーについて
列ヘッダおよびセルのボーダーに関する注意事項は、以下のとおりです。
- ボーダーの幅は、1pxに固定されています。変更することはできません。
そのため、ボーダーのスタイルに二重線などを指定した場合、実線と区別がつかないことがあります。
 - デフォルトでは、表示の見栄えを良くするために、左と上のボーダーの色は白になっています。
- 行ヘッダの左右と、列ヘッダの下端領域について
行ヘッダの左右、および列ヘッダの下端(下部スクロールバーの左)の領域の色は、カスタマイズできません。

操作によるスタイル変更

操作によるスタイルは、CSSでだけ設定できます。

行ヘッダにフォーカスがある場合のスタイルを以下に示します。

プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
rowFocused	rcf-IBPMTTableEdit-rowFocused	・ カラー

行ヘッダにより行が選択された場合のスタイルを以下に示します。

プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
rowSelected	rcf-IBPMTTableEdit-rowSelected	・ カラー

セルにフォーカスがある場合のスタイルを以下に示します。

プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
cellFocused	rcf-IBPMTTableEdit-cellFocused	・ カラー

セルが選択された場合のスタイルを以下に示します。

プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
cellSelected	rcf-IBPMTTableEdit-cellSelected	・ カラー

セルを編集しているときのスタイルを以下に示します。

プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
cellEditing	rcf-IBPMTTableEdit-cellEditing	・ カラー

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

2.3.3 ViewColumn

ViewColumnは、Table ViewおよびTable Editのテーブルの列を定義する部品です。

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMTTableEdit" ... >
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="xxx" ... >
    </div>
    ...
  </div>
```

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
renderer	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
name	String	カラムの名前を指定します。TableViewまたはTableEditにあるViewColumn内で、一意の値を指定してください。一意でない値を指定した場合、エラーになります。	不可	—
property Name	String	ViewColumnが参照するタグの名前 (TableViewまたはTableEditに指定されたXMLデータ)を指定します。	可	nameプロパティの値
label	String	列ヘッダ部に表示する文字列を指定します。	可	nameプロパティの値
columnWidth	Number	列幅を指定します。単位はピクセルです。最小値は10です。10未満の数値を指定した場合、エラーとなります。指定しない場合は、TableViewまたはTableEditのdefaultColumnWidthプロパティの値となります。TableViewまたはTableEditで複数行表示する場合は、個々に設定された列幅のうち、最大の値が有効になります。	可	指定なし
editable	Boolean	列のセルの内容を編集可能にするかどうかを指定します。TableViewの場合、本プロパティは無視されます。 <ul style="list-style-type: none"> • true: 編集可 • false: 編集不可 	可	true
sortable	Boolean	列のセルの内容に基づいてソートを可能にするかどうかを指定します。TableEditの場合、本プロパティは無視されます。 <ul style="list-style-type: none"> • true: ソート可 • false: ソート不可 	可	true
comparator	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
focusable	Boolean	セルのフォーカスを可能にするかどうかを指定します。TableViewの場合、本プロパティは無視されます。 <ul style="list-style-type: none"> • true: フォーカス可 • false: フォーカス不可 	可	true

名前	データ型	説明	省略	省略値
selectable	Boolean	セルの選択を可能にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true: その列のセルが選択可能 • false: その列のセルが選択不可 TableViewの場合は無視されます。	可	true

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

スタイルプロパティ

本部品スタイルプロパティでは、定義する列のスタイルを指定することができます。

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
列ヘッダ	ccell	<ul style="list-style-type: none"> • TableViewの場合 rcf-IBPMTableView-ccell* • TableEditの場合 rcf-IBPMTTableEdit-ccell* * は列番号(0~)を表します。	<ul style="list-style-type: none"> • フォント(lineHeightを除く) • セル
セル	cell	<ul style="list-style-type: none"> • TableViewの場合 rcf-IBPMTableView-cell* • TableEditの場合 rcf-IBPMTTableEdit-cell* * は列番号(0~)を表します。	<ul style="list-style-type: none"> • カラー • フォント(lineHeightを除く) • ボーダー(borderWidthを除く) • セル

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

クラス名の列番号

CSSによりスタイルを設定する場合、クラス名の最後に列番号を追加します。
列番号は、以下のとおりになります。

- ViewColumnGroupによる段組を行わない場合
列番号は左から順番に0、1、2...となります。

	0 品名	1 価格	2 販売開始日	
1	AAA	1000	2006/06/08	
2	BBB	2000	2006/06/09	
3	CCC	3000	2006/06/10	
4	DDD	4000	2006/06/11	
5	EEE	5000	2006/06/12	
6	FFF	6000	2006/06/13	
7	GGG	6000	2006/06/14	
8	HHH	5000	2006/06/15	
9	III	4000	2006/06/16	
10	JJJ	3000	2006/06/17	
11	KKK	2000	2006/06/18	
12	LLL	1000	2006/06/19	
13	MMM	2000	2006/06/20	

- ViewColumnGroupにより段組を行った場合
以下のように、ViewColumnで定義した順番になります。

	0 品名A	1 価格A	2 販売開始日A	
	3 品名B	4 価格B		
1	A11	1001	2006/06/08	
	A12	1100		
2	A21	1002	2006/06/08	
	A22	1200		
3	A31	1003	2006/06/08	
	A32	1300		
4	A41	1004	2006/06/08	
	A42	1400		
5	A51	1005	2006/06/08	
	A52	1500		
6	A61	1006	2006/06/08	
	A62	1600		
7	A71	1007	2006/06/08	

CSSで列のスタイルを定義するときの注意事項

CSSでTableView(TableEdit)の全体に対するスタイルとViewColumnの列のスタイルを指定する場合は、定義は以下の順番で記述してください。

1. TableView(TableEdit)の列ヘッダまたはセル全体に対するスタイル
2. ViewColumnの列ヘッダまたはセルの固有の列に対するスタイル

セルのスタイルの場合の例

```
.myStyle .rcf-IBPMTableView-cell { ←セル全体に対するスタイルを
```

```
background-color: yellow;           先に記述する
}

.myStyle .rcf-IBPMTableView-cell10 {
background-color: blue;
}

.myStyle .rcf-IBPMTableView-cell12 {
}

...

```

定義の順番を逆にすると、セル全体に対するスタイルが優先されてしまうことがあります。

スタイルの優先順位

ViewColumnおよびTableView(TableEdit)のスタイルを設定した場合の優先順位は、以下のとおりになります。

列ヘッダの場合

1. スタイルプロパティで設定したViewColumnの列ヘッダのスタイル
2. スタイルプロパティで設定したTableView(TableEdit)の列ヘッダのスタイル
3. CSSで設定したViewColumnの列ヘッダのスタイル
4. CSSで設定したTableView(TableEdit)の列ヘッダのスタイル

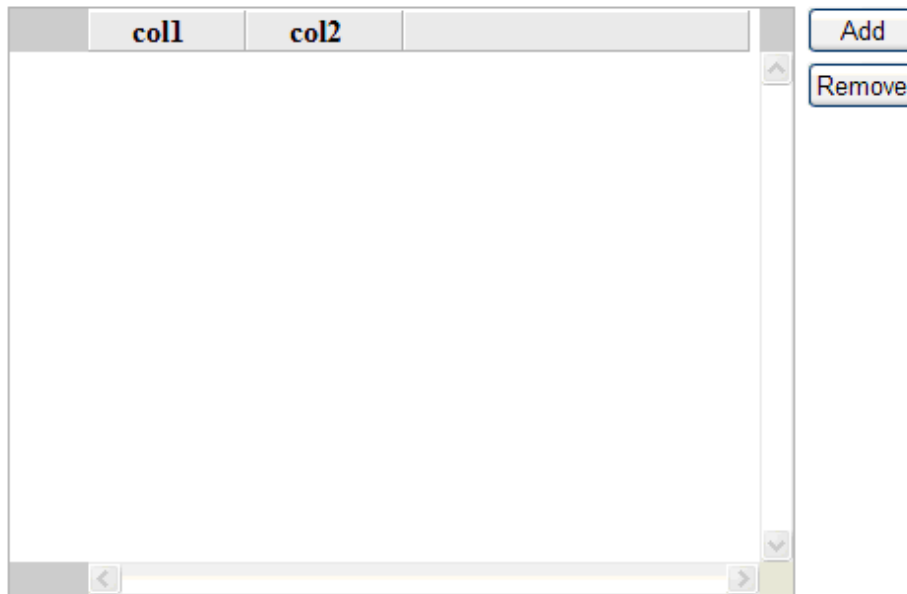
セルの場合

1. スタイルプロパティで設定したViewColumnのセルのスタイル
2. スタイルプロパティで設定したTableView(TableEdit)のセルのスタイル
3. CSSで設定したViewColumnのセルのスタイル
4. CSSで設定したTableView(TableEdit)のセルのスタイル

2.3.4 ButtonForTable

ButtonForTableは、ボタンを表示する部品です。テーブルで、行の追加または削除用のボタンとして使用されます。[TableEdit](#)と組み合わせて指定します。

表示例



記述形式

```
<div rcf:id="uda_tableData" rcf:type="IBPMTTableEdit" >
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="col1"></div>
  <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="col2"></div>
</div>
<div rcf:type="IBPMButtonForTable" rcf:label="Add" rcf:targetTableId="uda_tableData" rcf:removeActionFlag="false"></div>
<div rcf:type="IBPMButtonForTable" rcf:label="Remove" rcf:targetTableId="uda_tableData" rcf:removeActionFlag="true"></div>
```

ポイント

- 本部品は、前後に改行コードは挿入されません。
- 子要素には、ブロック要素またはインライン要素を指定できます。ただし、以下のものは子要素に指定できません。

- <a>タグ
- <form>タグ
- <input>タグ
- <select>タグ
- <textarea>タグ
- <label>タグ
- <button>タグ
- <isindex>タグ
- <fieldset>タグ
- <iframe>タグ
- UI部品

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
targetTableId	String	対応するTableEditのIDを指定します。	不可	-
removeActionFlag	Boolean	行の削除用ボタンとして使用するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none">• true: 選択している行を削除するボタンとして使用する• false: 新しい行を追加するボタンとして使用する	不可	-
title	String	ツールチップで表示されるテキストを指定します。	可	""
enabled	Boolean	本製品の有効/無効を指定します。 <ul style="list-style-type: none">• true: 有効• false: 無効 操作できなくなります。	可	true
tabIndex	Number	Tabキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0
label	String	ボタンに表示する文字列を指定します。 このプロパティは、<div>タグの子要素として指定されたボタン表示内容を上書きします。	可	""

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

ポイント

Add/Removeボタンに表示する文字列を変更したい場合は、各ボタンのlabelプロパティで指定します。

例. ボタンに表示する文字列を“追加”、“削除”にする場合

```
<div rcf:type="IBPMButtonForTable" rcf:label="追加" rcf:targetTableId="uda_tableData" rcf:removeActionFlag="false"></div>  
<div rcf:type="IBPMButtonForTable" rcf:label="削除" rcf:targetTableId="uda_tableData" rcf:removeActionFlag="true"></div>
```

注意

titleプロパティに長い文字列を指定すると、自動的に改行または省略されることがあります。

なお、空文字列を指定した場合は、表示されません。

スタイルプロパティ

スタイルプロパティを以下に示します。

パーツ名	プレフィックス	クラス名	使用可能なスタイル
部品全体	なし	rcf-Button	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラー ・ サイズ ・ テキスト(textIndent、textDecoration、whiteSpaceを除く) ・ フォント(lineHeightを除く) ・ ボーダー ・ パディング ・ verticalAlign

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

2.3.5 ViewColumnGroup

ViewColumnGroupは、複数のViewColumnをグループ化する部品です。テーブルのヘッダやデータを複数行表示する場合に利用します。

ポイント

ダミーセルの表示について

2つ以上のViewColumnGroupが定義されていて、それぞれのViewColumnGroupで定義しているViewColumnの数が異なる場合、数が少ないほうにダミーのViewColumnが自動的に補われてダミーのセルが表示されます。

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMTTableEdit" ... >
  <div rcf:type="IBPMViewColumnGroup">
    <div rcf:type="IBPMViewColumn" ... ></div>
    ...
  </div>
  ...
</div>
```

ポイント

- ・ 子要素には、ViewColumnが指定できます。
- ・ TableEditまたはTableView直下のViewColumnは、見えないViewColumnGroupで囲まれているものとして扱われます。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
dispType	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

ViewColumnGroupの記述例

ViewColumnGroupの記述例を以下に示します。

	ID	Name	
	Score		
1	ID0001	Andy	
	90		
2	ID0002	Bob	
	80		
3	ID0003	Cindy	
	100		
4	ID0004	Yolanda	
	90		

```

<div rcf:type="IBPMTableEdit" rcf:id="uda_XMLVariable">
  <div rcf:type="IBPMViewColumnGroup">
    <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="ID" rcf:propertyName="id"></div>
    <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="Name" rcf:propertyName="name"></div>
  </div>
  <div rcf:type="IBPMViewColumnGroup">
    <div rcf:type="IBPMViewColumn" rcf:name="Score" rcf:propertyName="score"></div>
  </div>
</div>

```

スタイルプロパティ

固有のスタイルプロパティはありません。

2.4 カレンダー部品

カレンダー部品は、カレンダーを表示する部品です。画面に直接カレンダーを表示したり、ポップアップでカレンダーを表示させることができます。

ここでは、カレンダー部品の設定内容、および設定方法について説明します。

2.4.1 Calendar

Calendarは、カレンダーを表示する部品です。表示されたカレンダーから日付を指定することもできます。

表示例

■ナビゲータ表示なし

Su.	Mo	Tu.	We.	Th.	Fr.	Sa.
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

選択日付
 ・クリック
 ・スペースキー

フォーカス日付
 ・マウスオーバー
 ・カーソル移動

■ナビゲータ表示あり

タイトル

2010/5						
Su.	Mo	Tu.	We.	Th.	Fr.	Sa.
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

前月 < > 次月

記述形式

```
<div rcf:type="IBPMCalendar" ... ></div>
```

注意

子要素は指定できません。詳細は、“4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作”を参照してください。

ポイント

本部品は、前後に改行コードが挿入されて表示されます。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“プロパティ”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
year	Number	カレンダー表示年を指定します。(1以上)	可	システム時計の今年
month	Number	カレンダー表示月(0-11)を指定します。	可	システム時計の今月
firstDayOfWeek	Number	カレンダー左端カラムの曜日を指定します。値は、日曜日始まりの0から6です。	可	0(日曜日)
selectedDates	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-

名前	データ型	説明	省略	省略値
		選択された日付を指定するために、idプロパティにUDAを指定します。そして、選択された値は、UDAに保存されます。 詳細は、“ 2.5 画面部品共通プロパティ ”の“ プロパティにUDAを指定する方法 ”を参照してください。		
xpath	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。 テキストノードか、属性ノードのxpathを指定できます。	不可	-
dateFormat	String	本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。 idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータの日付フォーマットを指定します。 指定できる日付フォーマットの一覧を以下に示します。 1. dd.MM.yyyy 2. dd-MM-yyyy 3. MM.dd.yyyy 4. MM/dd/yy 5. MM/dd/yyyy 6. yyyy-MM-dd 7. MM-dd-yyyy 8. MM dd yyyy 9. yyyy MM dd 10. YYYY/MM/dd 11. yyyy/MM/dd hh:mm:ss 12. dd/MM/yyyy 13. yyyy.MM.dd 対象のUDAの値が"03.21.2010"である場合、以下のフォーマットを指定します。 "MM.dd.yyyy"	不可	-
daysOfWeek	Stringの配列	曜日として表示する文字列の配列を指定します。日曜日始まりで、7つの曜日文字列を指定します。 要素数が7以外の場合は、エラーとなります。 タグ内に記述する場合は、半角セミコロンで区切って指定します。 例:"日;月;火;水;木;金;土"	可	["Su.", "Mo.", "Tu.", "We.", "Th.", "Fr.", "Sa."]
holidays	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-

名前	データ型	説明	省略	省略値
specialDates	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
dateToolTips	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
naviType	String	ナビゲータ表示を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ALL: 前月ボタン、次月ボタン、タイトルを表示 • TITLE: タイトルだけ表示 • NONE: ナビゲータ非表示 	可	ALL
naviButtonRenderer	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
naviTitleLabelProvider	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
dayOfWeekCellRenderer	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
dateCellRenderer	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-
tabIndex	Number	Tabキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0
selectable	Boolean	日付の選択可否を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • true: 選択可能 • false: 選択不可 	可	true
selectMode	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。 常に単一選択モードになります。	-	-
utc	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。	-	-

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

ポイント

曜日として表示する文字列を変更したい場合は、daysOfWeekプロパティで指定します。
例. 曜日文字列を“日;月;火;水;木;金;土”にする場合

```
<div rcf:type="IBPMCalendar" rcf:daysOfWeek="日;月;火;水;木;金;土" ></div>
```

マウス操作

以下の表に示します。

操作	処理
ナビゲータの前月ボタンをクリック	前の月を表示します。
ナビゲータの次月ボタンをクリック	次の月を表示します。

操作	処理
日付のセルをクリック	クリックした日付の選択状態を切り替えます。
日付のセルをダブルクリック	クリックした日付を選択された状態にします。
日付のセル上にマウスを移動	マウスの位置するセルの日付をフォーカス日付にします。

キー操作

以下の表に示します。

操作	処理	
スペース	フォーカス日付の選択状態を切り替えます。	
←	なし	フォーカス日付を前日に移動します。(表示されている範囲内での移動)
	+ SHIFT	前の月を表示します。
→	なし	フォーカス日付を翌日に移動します。(表示されている範囲内での移動)
	+ SHIFT	次の月を表示します。
↑	フォーカス日付を上(前の週)に移動します。(表示されている範囲内での移動)	
↓	フォーカス日付を下(次の週)に移動します。(表示されている範囲内での移動)	
Home	フォーカス日付を表示月の1日に移動します。	
End	フォーカス日付を表示月の最終日に移動します。	
PageUp	前の月を表示します。	
PageDown	次の月を表示します。	

スタイルプロパティ

本部品全体のスタイルプロパティを以下に示します。

パーツ名	プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
全体(外枠)	なし	rcf-IBPMCalendar	<ul style="list-style-type: none"> サイズ ボーダー
セル(全体共通)	cell	rcf-IBPMCalendar-cell	<ul style="list-style-type: none"> サイズ カラー フォント ボーダー セル
ナビゲーションタイトル	naviTitle	rcf-IBPMCalendar-naviTitle	<ul style="list-style-type: none"> サイズ(widthを除く) カラー フォント ボーダー セル
ナビゲーションボタン	naviButton	rcf-IBPMCalendar-naviButton	<ul style="list-style-type: none"> サイズ(widthを除く) カラー フォント ボーダー

パーツ名	プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
			<ul style="list-style-type: none"> セル
曜日ヘッダ(共通)	dayOfWeek	rcf-IBPMCalendar-dayOfWeek	<ul style="list-style-type: none"> サイズ(widthを除く) カラー フォント ボーダー セル
曜日ヘッダ(個別)	dayOfWeek0 ～ dayOfWeek6	rcf-IBPMCalendar-dayOfWeek0 ～ rcf-IBPMCalendar-dayOfWeek6	<ul style="list-style-type: none"> カラー フォント ボーダー セル
日付(共通・当月)	date	rcf-IBPMCalendar-date	<ul style="list-style-type: none"> カラー フォント ボーダー セル
日付(曜日ごと・当月)	date0 ～ date6	rcf-IBPMCalendar-date0 ～ rcf-IBPMCalendar-date6	<ul style="list-style-type: none"> カラー フォント ボーダー セル
日付(共通・他の月)	otherMonth	rcf-IBPMCalendar-otherMonth	<ul style="list-style-type: none"> カラー フォント ボーダー セル
日付(曜日ごと・他の月)	otherMonth0 ～ otherMonth6	rcf-IBPMCalendar-otherMonth0 ～ rcf-IBPMCalendar-otherMonth6	<ul style="list-style-type: none"> カラー フォント ボーダー セル
フォーカス日付	focus	rcf-IBPMCalendar-focus	<ul style="list-style-type: none"> カラー フォント ボーダー セル
選択日付	selected	rcf-IBPMCalendar-selected	<ul style="list-style-type: none"> カラー フォント ボーダー セル
休日	holiday	rcf-IBPMCalendar-holiday	<ul style="list-style-type: none"> カラー フォント ボーダー

パーツ名	プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
			<ul style="list-style-type: none"> セル
特別日	special0 ～ special9	rcf-IBPMCalendar-special0 ～ rcf-IBPMCalendar-special9	<ul style="list-style-type: none"> カラー フォント ボーダー セル

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。



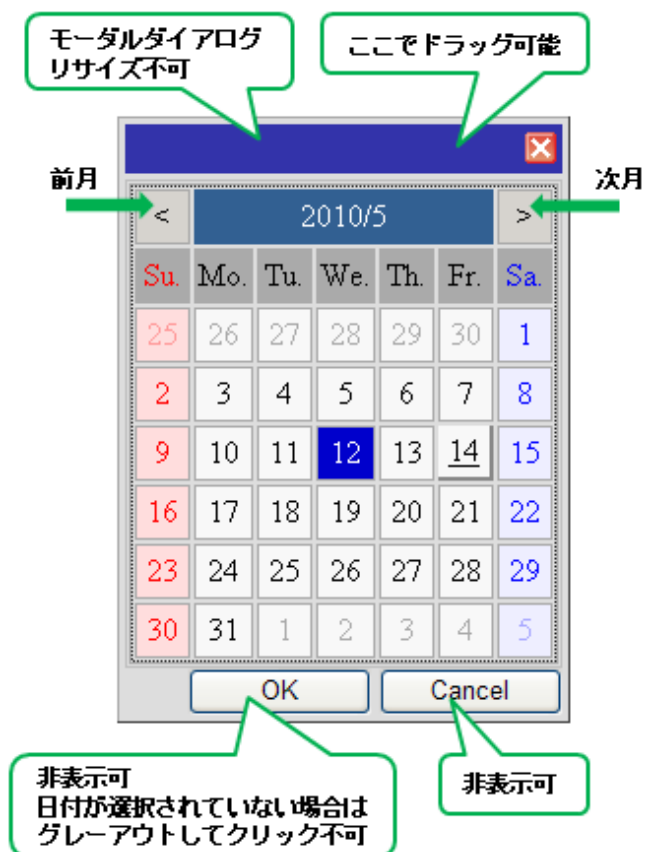
注意

- カレンダの各セルは、tableのTD要素で表示されます。
- 日付(当月)、日付(他の月)、曜日ヘッダは、共通のスタイル設定のほかに、曜日ごとにスタイルを変更することができます。この場合は、曜日を表す数字をプレフィックス/クラス名に後置します。
(例: 日曜日0...土曜日6)
- 日付セルのスタイルは、デフォルトでは、以下の優先順位を持ちます。(上の方が優先度高)
 1. selected
 2. focus
 3. special0..9
 4. holiday
 5. date0..6 / otherMonth0..6
 6. date /otherMonth
 7. cell
- 全体(外枠)以外のスタイルの設定は、CSSでだけ可能です。CSSで指定する際は、優先度の低いものから順に指定してください。
- CSSで指定したスタイルの方が、デフォルトのスタイルより優先されます。cellやdateなど優先度が低いものだけをCSSで定義すると、選択日やフォーカスなどのデフォルトのスタイル指定が無効になる場合があります。必要なスタイルには、優先順位に従って、すべてを定義するようにしてください。

2.4.2 PopupCalendar

PopupCalendarは、ポップアップダイアログのカレンダを表示する部品です。CalendarButtonと組み合わせて指定します。ポップアップダイアログから日付を確定させることができます。

表示例



記述形式

```
<span rcf:id="uda_var1" rcf:type="IBPMDateInput" ...></span>
<div rcf:id="IBPMPopupCalendar_1" rcf:type="IBPMPopupCalendar" rcf:targetDateInputId="uda_var1" ...></div>
<span rcf:id="CalendarButton_1" rcf:type="IBPMCalendarButton" rcf:target="IBPMPopupCalendar_1" ...></span>
```

注意

子要素は指定できません。詳細は、“4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作”を参照してください。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“プロパティ”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
selectedDate	-	Interstage BPM Studioでは、指定できません。 選択された日付を指定するために、idプロパティにUDAを指定します。そして、選択された値は、UDAに保存されます。 詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”の“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。	-	-

名前	データ型	説明	省略	省略値
xpath	String	<p>本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。</p> <p>idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータのxpathを指定します。</p> <p>テキストノードか、属性ノードのxpathを指定できます。</p>	不可	-
dateFormat	String	<p>本プロパティは、ユーザ定義型UDAを使用する場合のみに指定します。</p> <p>idプロパティにユーザ定義型UDAを指定した場合、対象とするデータの日付フォーマットを指定します。</p> <p>指定できる日付フォーマットの一覧を以下に示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. dd.MM.yyyy 2. dd-MM-yyyy 3. MM.dd.yyyy 4. MM/dd/yy 5. MM/dd/yyyy 6. yyyy-MM-dd 7. MM-dd-yyyy 8. MM dd yyyy 9. yyyy MM dd 10. YYYY/MM/dd 11. yyyy/MM/dd hh:mm:ss 12. dd/MM/yyyy 13. yyyy.MM.dd <p>対象のUDAの値が"03.21.2010"である場合、以下のフォーマットを指定します。</p> <p>"MM.dd.yyyy"</p>	不可	-
labelOK	String	<p>OKボタンの文字列を指定します。</p> <p>""(空文字列)を指定すると、ボタンが非表示になります。(注)</p>	可	"OK"
labelCancel	String	<p>Cancelボタンの文字列を指定します。</p> <p>""(空文字列)を指定すると、ボタンが非表示になります。(注)</p>	可	"Cancel"
targetDateInputId	String	<p>カレンダーで選択された日付を表示するために、DateInputのIDを指定します。</p>	可	""

注) labelOKおよびlabelCancelの両方に空文字列を指定した場合は、フッター部(OKボタンおよびCancelボタンが表示される領域)が非表示になります。

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

注意

本部品では、Calendarの以下のプロパティを指定できます。

- firstDayOfWeek
- daysOfWeek

ポイント

フッター部のボタンに表示する文字列を変更したい場合は、labelOKプロパティやlabelCancelプロパティで指定します。
例. Cancelボタンに表示する文字列を“キャンセル”にする場合

```
<div rcf:id="IBPMPopupCalendar_1" rcf:type="IBPMPopupCalendar" rcf:targetDateInputId="uda_var1" rcf:labelCancel="キャンセル"></div>
```

スタイルプロパティ

本部品全体のスタイルプロパティを以下に示します。

パーツ名	プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
OK/Cancelボタン	button	rcf-PopupCalendar-button	<ul style="list-style-type: none">・ カラー・ フォント(lineHeightを除く)

Calendarのスタイルプロパティも指定できます。詳細は、“[2.4.1 Calendar](#)”の“[スタイルプロパティ](#)”を参照してください。
ただし、Calendarのスタイルのうち、全体(外枠)に対応するものは、PopupCalendarでは以下ようになります。

- ・ プレフィックス: calendar
- ・ クラス名: rcf-IBPMCalendar-calendar

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

補足事項

- ・ 本部品は、<div>タグのstyle属性(position、top、leftなど)が利用できない部品の1つです。詳細は、“[1.2.3 UI部品の<div>タグおよびタグで利用できる属性](#)”を参照してください。
- ・ topとleftは、スタイルプロパティで指定してください。
CSSでの指定は無効となります。

2.4.3 CalendarButton

CalendarButtonは、PopupCalendarを表示するボタン部品です。[PopupCalendar](#)と組み合わせて指定します。

ボタンをクリックすること、またはフォーカス時にEnterキーまたはスペースキーを押すことで、PopupCalendarが表示されます。

表示例



記述形式

```
<div rcf:type="IBPMCalendarButton" rcf:target="popupCalendar1" ... ></div>
```

または

```
<span rcf:type="IBPMCalendarButton" rcf:target="popupCalendar1" ... ></span>
```

注意

子要素は指定できません。詳細は、“4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作”を参照してください。

ポイント

本部品は、以下のように表示されます。

- <div>タグの場合:前後に改行コードが挿入されます。
- タグの場合:前後に改行コードは挿入されません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“プロパティ”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
alt	String	画像の代替テキストを指定します。	可	Calendar Button
enabled	Boolean	ボタンの利用を許可するかどうか指定します。 <ul style="list-style-type: none">• true: 許可する• false: 許可しない	可	true
target	String	表示するPopupCalendarのIDを指定します。	不可	-
tabIndex	Number	Tabキーで移動するフォーカスの順番を指定します。 HTMLのtabindex属性と同様の指定ができます。1以上の整数を指定した場合、数字の小さい順にフォーカスが移動します。	可	0

部品共通のプロパティも指定できます。詳細は、“2.5 画面部品共通プロパティ”を参照してください。

CalendarButtonの記述例

PopupCalendarやDateInputを組み合わせて表示するための記述例を、以下に示します。



```
...  
<span rcf:id="uda_var1" rcf:type="IBPMDateInput" ...></span>  
<div rcf:id="IBPMPopupCalendar_1" rcf:type="IBPMPopupCalendar" rcf:targetDateInputId="uda_var1" ...></div>  
<span rcf:id="CalendarButton_1" rcf:type="IBPMCalendarButton" rcf:target="IBPMPopupCalendar_1" ...></span>  
...
```

入力手順を以下に示します。

1. CalendarButtonをクリックします。
⇒PopupCalendarが表示されます。

2. PopupCalendarで日付を選択します。
⇒var1というUDAを介してDateInputに日付が入力されます。

スタイルプロパティ

パーツ名	プレフィックス	クラス名	指定可能なスタイル
部品全体	なし	rcf- CalendarButton	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボーダー ・ verticalAlign

verticalAlignについて説明します。

名前	データ型	説明	省略値
verticalAlign	String	行内の上下の表示位置を指定します。 CSSのvertical-alignプロパティの値を指定できます。	baseline

詳細は、“[2.6 スタイルプロパティ](#)”を参照してください。

2.5 画面部品共通プロパティ

画面部品で共通のプロパティを、以下に示します。

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
id	String	<p>部品のIDを指定します。(注) 指定する文字列は、以下の条件に従う必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初の文字は半角英文字 ・ 2文字目以降の文字は、半角英文字、半角数字、アンダーバー、ハイフン、コロン、ピリオドのどれか <p>先頭および末尾の空白は、無視されます。上記以外の文字が指定された場合、エラーとなります。また、空文字列を指定することはできません。</p> <p>Interstage BPM Studioでは、このプロパティにUDAを指定することができます。UDAを指定した場合、部品が初期化される際に、指定したUDAの値が特定のプロパティの値として使用されます。また、そのプロパティの値は、UDAの値として保存されます。</p> <p>ただし、Select、SelectListまたはCheckListが初期化される際は、指定したUDAの値に該当する項目のインデックスが、selectedIndexプロパティまたはselectedIndexesプロパティに設定されます。そして選択されたインデックスに該当する項目の値が、UDAの値として保存されます。</p> <p>詳細は、“プロパティにUDAを指定する方法”を参照してください。</p>	可	部品名_連番
type	String	部品タイプを指定します。	不可	なし
styleClass	String	スタイルのクラス名を指定します。 機能付加部品には指定できません。	可	""

注) HTMLのid属性とは異なります。HTMLのid属性を指定する場合は、このrcf:id属性とは別に、id属性を指定してください。

UDAで指定できるプロパティのタイプ

以下にidプロパティにUDAを指定できる部品を示します。

部品名	プロパティ	指定できるUDAのタイプ
Text	value	STRING, BOOLEAN, INTEGER, LONG, FLOAT, BIGDECIMAL, XML, DATE, CUSTOM
TextInput	value	STRING, BOOLEAN, INTEGER, LONG, FLOAT, BIGDECIMAL, DATE, CUSTOM
CheckBox	value	STRING, BOOLEAN
RadioButton	value	STRING, BOOLEAN
TextArea	value	STRING, BOOLEAN, INTEGER, LONG, FLOAT, BIGDECIMAL, XML, DATE, CUSTOM
Select	selectedIndex, selectedIndexes	STRING, INTEGER, LONG, FLOAT, BIGDECIMAL, CUSTOM (注)
ComboBox	value	STRING, INTEGER, LONG, FLOAT, BIGDECIMAL, CUSTOM
DateInput	date	DATE, CUSTOM
NumberInput	number	INTEGER, LONG, FLOAT, BIGDECIMAL, CUSTOM
SelectList	selectedIndex, selectedIndexes	STRING, INTEGER, LONG, FLOAT, BIGDECIMAL, CUSTOM (注)
CheckList	selectedIndex, selectedIndexes	STRING, INTEGER, LONG, FLOAT, BIGDECIMAL, CUSTOM (注)
Panel	label	STRING, BOOLEAN, DATE, INTEGER, LONG, FLOAT, BIGDECIMAL, XML
ViewStack	selectedIndex	INTEGER
TabPanel	selectedIndex	INTEGER
FragmentContainer	src	STRING
TableView	data	XML,CUSTOM
TableEdit	data	XML,CUSTOM
Calendar	selectedDates	DATE, LONG, CUSTOM
PopupCalendar	selectedDate	DATE, LONG, CUSTOM

注) 複数選択の場合、指定できるUDAのタイプはString型だけです。

プロパティにUDAを指定する方法

Interstage BPM Studioでは、部品をUDAに関連付けることができます。

指定方法は以下の通りです。

```
rcf:<プロパティ名>="uda_<UDAの識別子>"
```

例えば、Select部品を"Value1"と"Options"という識別子を持つUDAに関連付ける場合は、以下のように記述します。

```
<div rcf:type="IBPMSelect" rcf:id="uda_Value1" rcf:prop_options="uda_Options"...></div>
```

上記の例では、

- Value1には選択した値が格納されます。UI部品のオプションのindexではありません。

- 複数選択の場合は、選択したすべての値がValue1に格納されます。区切り文字は、カンマです。

あるユーザ定義型UDAを複数の部品に関連付ける場合には、以下の方法で指定します。

```
rcf:id="uda_<UDAの識別子>.ユニークな文字列"
```

例.以下のユーザ定義型UDAを部品に関連付ける場合は、以下のように記述します。

```
UDA 識別子 : myAddress
値      :<address>
        <street>44 Deerfallen Way</street>
        <city>Albuquerque</city>
        <state>NM</state>
        </address>
```

```
<div rcf:id="uda_myAddress.01" rcf:type="IBPMTTextInput" rcf:xpath="/address/street/text()"...>
<div rcf:id="uda_myAddress.02" rcf:type="IBPMTTextInput" rcf:xpath="/address/city/text()"...>
```

注意

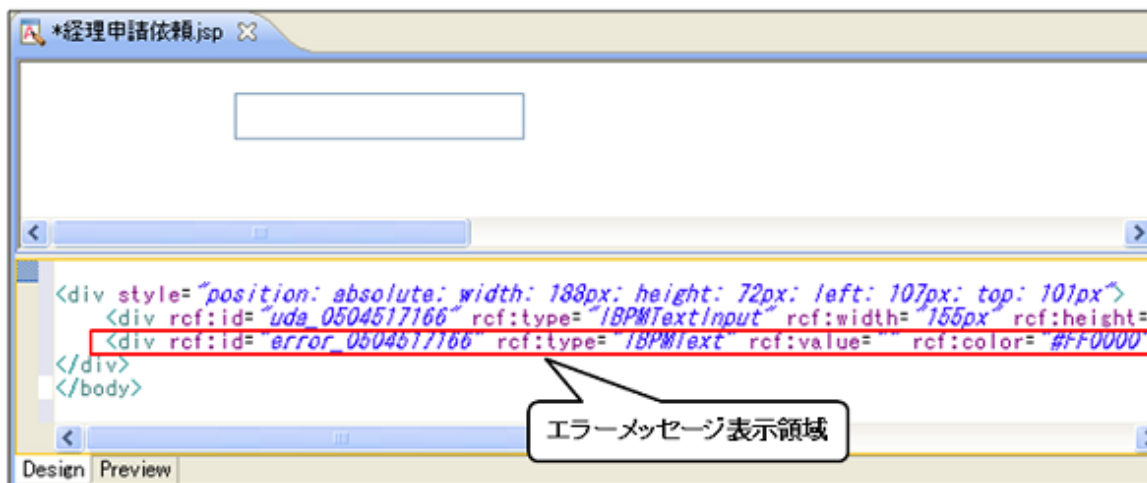
- `prop_options`プロパティ(Select、SelectListとCheckList UI部品)と`prop_list`(ComboBox UI部品)に関連付けたUDAの値には、選択項目を表す値を指定します。選択項目の区切り文字として、カンマを使用します。
- `options`プロパティ(Select、SelectListとCheckList UI部品)と`list`(ComboBox UI部品)には、選択項目を表す値を指定します。選択項目の区切り文字として、セミコロンを使用します。
- `prop_options`プロパティ(Select、SelectListとCheckList UI部品)と`prop_list`(ComboBox UI部品)に関連付けたUDAの値について、以下の注意があります。
 - このUDAの値の末尾がカンマの場合、選択項目の末尾に空の選択項目が表示されます。
 - このUDAの値が空文字列、ブランク文字列のみの場合は、空の選択項目が表示されます。
 - Select UI部品の`prop_options`プロパティに定義したUDAの値を、空文字列またはブランク文字列にすることはできません。
 - 空文字列またはブランク文字列の項目を選択した場合、各UI部品のidプロパティに定義されたUDAの値には、空文字列が設定されます。
- UI部品とUDAの関連付けについて
 - UI部品に誤ったUDA(存在しないUDA、未サポートタイプのUDAなど)に関連付けた場合、各プロパティ(valueなど)は、上書きされません。
 - DateInputに誤ったUDAを関連付けた場合、初期値として空文字列が表示されます。
 - ViewStack、TabPanelに関連付けたINTEGER型のUDAの値が、利用可能なインデックスの範囲外の場合は、何も表示されません。
 - TabPanelに追加したFragmentContainerの処理でエラーが発生した場合、TabPanelのその他のTabも使用できません。
- UDAの値について
 - この値が、前後にブランクを含んだ文字列の場合、その文字列がUI部品に表示されます。
 - UI部品に入力した値を保存する処理において、前後のブランクが削除(トリム)されてサーバに保存されます。
 - 複数選択可能なUI部品(Select、SelectList、CheckList)の場合、選択項目の文字列を区切り文字(カンマ)で結合した後の文字列をトリムして、サーバに保存します。

エラーメッセージ表示領域について

パレットで以下の画面部品を選択し、Ajaxページエディタに配置すると、エラーメッセージ表示領域も一緒に定義されます。

- TextInput
- TextArea

- Select
- ComboBox
- DateInput
- NumberInput
- SelectList
- CheckList
- TableView
- TableEdit
- Calendar
- PopupCalendar



Interstage BPMコンソールで以下の操作を行ったときに、エラーメッセージ表示領域にエラーメッセージが表示されます。

- 画面部品のmandatoryプロパティにtrueを指定し、Interstage BPMコンソールでユーザがこの部品への入力を省略した場合
- 指定できないタイプのUDAを、画面部品に関連付けた場合
- 指定したxpathの値が正しくない、または存在しない場合 など

この場合、対象となる画面部品をUDAに関連付け、エラーフィールド用Textのidプロパティには、以下の形式でUDAを指定する必要があります。

```
rcf:id="error_<UDAの識別子>"
```



Select UI部品のmultipulプロパティにtrueを指定した場合、この部品とエラーメッセージ表示域が重なるので、エラーメッセージ表示域を移動する必要があります。

2.6 スタイルプロパティ

画面部品で共通のスタイルプロパティを、以下に示します。

スタイルプロパティの指定方法については、“[1.2.2 スタイルの設定](#)”を参照してください。

なお、省略した場合はブラウザの標準の値となります。

注意

スタイルプロパティに不正な値が設定された場合、無視されます。

ポイント

部品全体に対するスタイルプロパティ名について

部品全体に対するスタイルプロパティに付けられる名前の例を、以下に示します。

- color:色指定
- backgroundColor:背景色指定
- fontSize:フォントサイズ指定

部品の特定のパーツに対するスタイルプロパティ名について

画面部品の特定のパーツに付けられるスタイルプロパティの名前には、その部品を表すプレフィックスが以下のように付加されます。

[プレフィックス][最初が大文字のプロパティ名]

タイトル部分のプレフィックスが“title”の場合の例を、以下に示します。

- titleColor:タイトル部分の色指定
- titleBackgroundColor:タイトル部分の背景色指定
- titleFontSize:タイトル部分のフォントサイズ指定

サイズ

名前	説明
width	部品の幅を指定します。 CSSのwidthプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。
height	部品の高さを指定します。 CSSのheightプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。

カラー

名前	説明
color	文字の色を指定します。 CSSのcolorプロパティの値を指定できます。
backgroundColor	背景色を指定します。 CSSのbackground-colorプロパティの値を指定できます。

フォント

名前	説明
fontFamily	文字の表示フォントを指定します。 CSSのfont-familyプロパティの値を指定できます。
fontSize	文字サイズを指定します。 CSSのfont-sizeプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。

名前	説明
fontStyle	文字のイタリック表示を指定します。 CSSのfont-styleプロパティの値を指定できます。
fontWeight	文字のウェイトを指定します。 CSSのfont-weightプロパティの値を指定できます。
lineHeight	行間を指定します。 CSSのline-heightプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。

テキスト

名前	説明
textIndent	字下げ幅を指定します。 CSSのtext-indentプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。
textAlign	テキストの行揃えを指定します。 CSSのtext-alignプロパティの値を指定できます。
textDecoration	文字装飾を指定します。 CSSのtext-decorationプロパティの値を指定できます。
letterSpacing	文字の間隔を指定します。 CSSのletter-spacingプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。
wordSpacing	単語間の間隔を指定します。 CSSのword-spacingプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。
whiteSpace	スペースの扱いを指定します。 CSSのwhite-spaceプロパティの値を指定できます。

ボーダー

名前	説明
borderWidth	枠線の太さを指定します。 CSSのborder-widthプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。
borderStyle	枠線の種類を指定します。 CSSのborder-styleプロパティの値を指定できます。
borderColor	枠線の色を指定します。 CSSのborder-colorプロパティの値を指定できます。

パディング

名前	説明
padding	パディングを指定します。 CSSのpaddingプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。

マージン

名前	説明
margin	マージンを指定します。 CSSのmarginプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。

ポジション

名前	説明
position	要素の配置方法を指定します。 CSSのpositionプロパティの値を指定できます。
top	要素の上からの位置を指定します。 CSSのtopプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。
right	要素の右からの位置を指定します。 CSSのrightプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。
bottom	要素の下からの位置を指定します。 CSSのbottomプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。
left	要素の左からの位置を指定します。 CSSのleftプロパティの値を指定できます。 数値で指定する場合、単位を省略することはできません。

オーバーフロー

名前	説明
overflow	領域からあふれた場合の動作を指定します。 CSSのoverflowプロパティの値を指定できます。

セル

名前	説明
textAlign	テキストの行揃えを指定します。 CSSのtext-alignプロパティの値を指定できます。
verticalAlign	セル内の上下の表示位置を指定します。 CSSのvertical-alignプロパティの値を指定できます。
whiteSpace	スペースの扱いを指定します。 CSSのwhite-spaceプロパティの値を指定できます。

第3章 機能付加部品

本章では、機能付加部品について説明します。

注意

- 1つの画面部品に対して、同じ種類の複数の機能付加部品を設定することはできません。同じ種類の複数の機能付加部品を設定した場合の動作は不定です。
- 機能付加部品が対象としていない部品に付加された場合、機能付加部品は無視されます。

3.1 グループ化機能付加部品

ここでは、グループ化機能の設定内容および設定方法について説明します。

3.1.1 RadioButtonGroup

RadioButtonGroupは、複数のRadioButtonからなる相互排他的なグループを形成する機能付加部品です。

ラジオボタングループを形成することにより、RadioButtonGroupに属するRadioButtonは、HTMLの同名のラジオボタン群と同様の動きをします。

- グループのRadioButton群で1つのフォーカスを構成
- グループ内の選択状態を、カーソルキーで変更可能

記述形式

```
<div rcf:type="RadioButtonGroup" rcf:targets="xxx1; xxx2; ..."></div>
```

または

```
<span rcf:type="RadioButtonGroup" rcf:targets="xxx1; xxx2; ..."></span>
```

注意

- 子要素は記述できません。詳細は、“[4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作](#)”を参照してください。
- 本部品は画面に表示されないため、<div>タグおよびタグのどちらかで記述しても違いはありません。

プロパティ

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
targets	Array	グループを形成するRadioButtonのidのリストです。 グループ内のカーソルキーによるフォーカスの制御は、本プロパティの指定順に従います。 本プロパティが以下の値の場合は、エラーとなります。 <ul style="list-style-type: none">指定されたidを持つ部品が存在しない指定されたidを持つ部品がRadioButtonではない	不可	-

名前	データ型	説明	省略	省略値
		<ul style="list-style-type: none"> 指定されたRadioButtonのvalueが空文字列である グループ内に同じvalueを持つRadioButtonが存在する 		
selectedValue	String	選択されているRadioButtonのvalueです。本プロパティが空文字列の場合、checkedプロパティがtrueのRadioButtonのなかで、targetsの指定順が最後のものを選択状態にします。グループ内のどのvalueとも一致しない値が指定された場合は、エラーとなります。	可	""



注意

RadioButtonGroupを形成する各RadioButtonのvalueプロパティは、値を指定する必要があります。Interstage BPM ConsoleがUDAの更新にこの値を使用しないとき、valueプロパティにはどのような値でも指定できます

そのほかにも、画面部品および機能付加部品で共通のプロパティを指定することができます。詳細は、“[2.5 画面部品共通プロパティ](#)”、および“[3.2 機能付加部品共通プロパティ](#)”を参照してください。

ラジオボタングループの形成

ラジオボタングループを形成するには、targetsプロパティにグループに含めるRadioButtonのidのリストを指定します。

以下に例を示します。

```

...
<span rcf:id="radioButton1" rcf:type="IBPMRadioButton" rcf:value="val1" rcf:label="ラジオボタン1"></span>
<span rcf:id="radioButton2" rcf:type="IBPMRadioButton" rcf:value="val2" rcf:label="ラジオボタン2"></span>
...
<span rcf:id="group1" rcf:type="RadioButtonGroup" rcf:targets="radioButton1; radioButton2" ... ></span>
...

```

3.2 機能付加部品共通プロパティ

ここでは、機能付加部品で共通のプロパティについて説明します。

表の項目の意味は、“Text”の“[プロパティ](#)”を参照してください。

名前	データ型	説明	省略	省略値
enabled	Boolean	機能の有効/無効を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> true:有効 false:無効 	可	true

第4章 注意事項

本章では、UI部品を使用する際の注意事項を説明します。

4.1 画面部品の注意事項

画面部品に関する注意事項を示します。

4.1.1 画面部品全般に関する注意事項

画面部品は、HTML、JavaScript、およびCSSにより実現されています。

そのため、ブラウザによる機能範囲の違いや動作の違いにより、部品の表示や動作が異なる部分があります。

4.1.2 サロゲートペア

画面部品では、サロゲートペアの文字を2文字として扱います。

例えば、TextInputの入力できる文字列の長さを制限するmaxLengthプロパティでは、サロゲートペアの文字は2文字と解釈して処理が行われます。

4.1.3 画面部品表示時のエラー

画面部品の表示時に発生する代表的なエラーは、以下のとおりです。
エラーが発生すると、画面部品の表示が中断されます。

- rc:idで指定したIDが重複している場合(RCF11000)
- Booleanを指定する属性で、“true”または“false”以外の文字列を指定した場合(RCF11001)
- Numberを指定する属性で、数値と解釈できない文字列を指定した場合(RCF11001)
- その部品の必須プロパティが指定されていない場合(RCF11003)

4.1.4 子要素を持たない部品に子要素を記述した場合の動作

子要素を持たない部品に、子要素を記述しないでください。子要素を記述した場合、以下の動作になりますので、注意してください。

- 子要素に<div>タグまたはタグによりUI部品を記述した場合
子要素に記述された部品は無視されます。
- 子要素に上記以外の一般的なHTMLタグを記述した場合
動作は不定です。

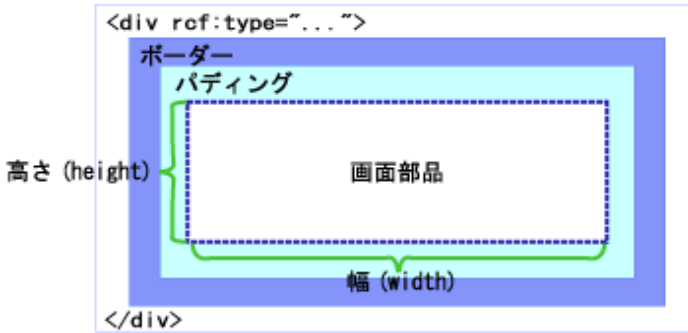
4.1.5 画面部品の幅と高さ

画面部品は、<div>タグまたはタグで記述します。

画面部品の幅と高さは、ボーダーおよびパディングを含みません。

<div>タグで記述した場合の高さと幅について、下図に示します。

図4.1 <div>タグでの幅と高さ



ただし、以下の部品では、ボーダーは幅と高さに含まれます。

- ButtonForTable
- Calendar

4.1.6 画面部品のレイアウト

画面部品は、Windowsの標準のレイアウトを前提として設計されています。

Windowsの[画面のプロパティ]-[デザインの詳細]などでレイアウトを変更している場合、画面部品のレイアウトが崩れる場合があります。また、ブラウザの文字サイズを動的に変更した場合も、画面部品のレイアウトが崩れる場合があります。

4.1.7 テキスト入力部品でのCtrlキー+zによるやり直し

テキスト入力部品でCtrlキー+zが押された場合、その部品にフォーカスが当たったときの状態に戻ります。

テキスト入力部品とは、以下のものです。

- [TextInput](#)
- [TextArea](#)
- [DateInput](#)
- [NumberInput](#)
- [ComboBox](#)

4.1.8 ページあたりの画面部品の個数について

ページあたりの画面部品の個数については、“[1.2.4 ページあたりの画面部品の個数](#)”を参照してください。

4.1.9 ページの拡大/縮小機能に関する注意点

ページの拡大/縮小機能は使用できません。ページを拡大/縮小した場合、表示が乱れる場合があります。

4.2 全部品共通の注意事項

全部品共通の注意事項を示します。

4.2.1 フォーカス移動におけるInternet Explorerの動作に関する注意事項

あるUI部品上にフォーカスが当たっているときに、ほかのフレームのスクロールバーをマウスでクリックしても、依然としてその部品に対してキー入力可能な状態となります。しかし、このような状態でキー入力を行うと、入力したデータが失われたり誤ったデータが設定されたりする危険性があります。このような状態で、キー入力を行わないように注意してください。

スクロールバー以外の部分をクリックすることで、フォーカスとキー入力の可・不可の関係は、正しい状態に戻ります。

また、画面設計を行う際にも、フレームにスクロールバーが表示されないよう考慮してください。

4.2.2 部品に対するキー入力に関する注意事項

Calendar部品における空白キーでの日付選択など、いくつかの部品ではキー操作による独自の処理が定義されています。これらの部品に対してキー操作を行う際にIMEがONになっていると、正しく処理が行われない場合があります。そのような場合はIMEをOFFにして、直接入力モードでキー操作を行うようにしてください。

また、Microsoft IME以外の日本語入力システムを使用している場合は、システムによっては入力システムを停止させる必要があります。

4.2.3 Number型のデータに関する注意事項

Internet Explorer 7では、Number型を、IEEE 754で規定される64ビット倍精度浮動小数点数で扱う仕様になっています。そのため、QuickFormで扱うNumber型のデータについては、浮動小数点演算特有の誤差が生じる場合があります。

4.3 エラーメッセージ

Ajaxページエディタが出力するメッセージとその対処について説明します。

RCF11000

Duplicate component id. id=%1

メッセージの意味

2つ以上のUI部品でIDが重複しています。

パラメタの意味

%1: 重複しているID

利用者の処置

UI部品のIDが重複しないように修正してください。

RCF11001

Invalid attribute value. name=rcf:%1 value=%2

メッセージの意味

プロパティに指定された初期値に誤りがあります。
以下の原因が考えられます。

- ・ プロパティのデータ型と指定された初期値のデータ型が異なる場合

パラメタの意味

%1: 不正な値が指定されたプロパティ名

%2: 指定された値

利用者の処置

プロパティには、データ型が一致する初期値を指定してください。

RCF11003

The property %1 is undefined.

メッセージの意味

UI部品の動作に必須のプロパティが定義されていません。

パラメタの意味

%1: 未定義のプロパティ名

利用者の処置

必須のプロパティが指定されているかを確認してください。

RCF12604

Specified index of "%1" property(%2) is out of range.

メッセージの意味

Select部品において、selectedIndexプロパティまたはselectedIndexesプロパティに指定されたインデックスの値が有効な範囲から外れています。

selectedIndexプロパティとselectedIndexesプロパティの要素の値は、それぞれ、以下の範囲に収まっていなければなりません。

- selectedIndex
-1 ≤ 指定値 ≤ (optionsプロパティの配列の長さ) -1
- selectedIndexes
0 ≤ 指定値 ≤ (optionsプロパティの配列の長さ) -1

パラメタの意味

%1: 異常なインデックスを検出したプロパティ名

%2: 異常と判断されたインデックス

利用者の処置

各プロパティに指定した値が有効範囲に収まっているかを確認してください。

RCF12605

Specified value of "%1" property(%2) is not found in values of "options" property.

メッセージの意味

Select部品において、selectedValueプロパティまたはselectedValuesプロパティに指定された値に誤りがあります。

selectedValueプロパティとselectedValuesプロパティの各要素の値は、optionsプロパティのどれかのvalueと一致していなければなりません。

パラメタの意味

%1: 異常な値を検出したプロパティ名

%2: 異常と判断された値

利用者の処置

各プロパティに指定した値が、optionsプロパティのvalueに含まれているかを確認してください。

RCF13302

Specified index of "%1" property(%2) is out of range.

メッセージの意味

SelectList部品において、selectedIndexプロパティまたはselectedIndexesプロパティに指定されたインデックスの値が有効な範囲から外れています。

selectedIndexプロパティとselectedIndexesプロパティの要素の値は、それぞれ、以下の範囲に収まっていなければなりません。

- selectedIndex
-1 ≤ 指定値 ≤ (optionsプロパティの配列の長さ) -1
- selectedIndexes
0 ≤ 指定値 ≤ (optionsプロパティの配列の長さ) -1

パラメタの意味

%1: 異常なインデックスを検出したプロパティ名

%2: 異常と判断されたインデックス

利用者の処置

各プロパティに指定した値が有効範囲に収まっているかを確認してください。

RCF13402

Specified index of "%1" property(%2) is out of range.

メッセージの意味

CheckList部品において、selectedIndexプロパティまたはselectedIndexesプロパティに指定されたインデックスの値が有効な範囲から外れています。

selectedIndexプロパティとselectedIndexesプロパティの要素の値は、それぞれ、以下の範囲に収まっていなければなりません。

- selectedIndex
-1 ≤ 指定値 ≤ (optionsプロパティの配列の長さ) -1
- selectedIndexes
0 ≤ 指定値 ≤ (optionsプロパティの配列の長さ) -1

パラメタの意味

%1: 異常なインデックスを検出したプロパティ名

%2: 異常と判断されたインデックス

利用者の処置

各プロパティに指定した値が有効範囲に収まっているかを確認してください。

索引

	[C]			[た]	
Calendar.....		70		チェックボタン.....	33
CalendarButton.....		79		チェックボックス.....	11,34
CheckBox.....		11		テキスト.....	6,8,15
CheckList.....		33		テーブル部品.....	51
ComboBox.....		22			
	[D]			[は]	
DateInput.....		25		日付.....	25
	[F]			表.....	51,57
FragmentContainer.....		48		フォーム部品.....	6
	[N]			ボタン.....	79
NumberInput.....		28			
	[P]			[ら]	
Panel.....		38		ラジオボタン.....	13,34
PopupCalendar.....		76		リスト.....	30
	[R]			リストボックス.....	18
RadioButton.....		13			
RadioButtonGroup.....		88			
	[S]				
Select.....		18			
SelectList.....		30			
	[T]				
TableEdit.....		57			
TableView.....		51			
TabPanel.....		41			
Text.....		6			
TextArea.....		15			
TextInput.....		8			
	[V]				
ViewColumn.....		62			
ViewColumnGroup.....		66,69			
ViewContainer.....		37			
ViewStack.....		40			
	[か]				
画面情報.....		37,38,40,41,48			
画面部品.....		1			
カレンダー.....		70,76			
カレンダー部品.....		70			
機能付加部品.....		2			
機能付加部品共通プロパティ.....		89			
共通プロパティ.....		81			
コンテナ部品.....		37			
コンボボックス.....		22			
	[さ]				
実数.....		28			
スタイルプロパティ.....		84			
整数.....		28			